

FW専用ファンド (プレミアムコース)

交付運用報告書

FWリそな円建債券アクティブファンド

FWリそな国内株式アクティブファンド

FWリそな先進国債券アクティブファンド

FWリそな先進国+
新興国債券アクティブファンド

FWリそな先進国株式アクティブファンド

FWリそな先進国+
新興国株式アクティブファンド

FWリそな絶対収益アクティブファンド

FWリそな国内リートインデックスオープン

FWリそな先進国リートインデックスオープン

Premium

リそなアセットマネジメント株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

投資対象とする投資信託証券

	投資信託証券
FWリそな円建債券 アクティブファンド	明治安田日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	アムンディ円債アクティブ・ファンド(適格機関投資家専用)
	りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ(適格機関投資家専用)
	ネオ・ジャパン債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	RM国内債券マザーファンド
	ネオ・ヘッジ付債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	キャリーエンハンスト・グローバル債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	Oneヘッジ付外国債券アクティブファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)
	グローバル債券アクティブオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)
RM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり)	
FWリそな国内株式 アクティブファンド	ダイワ・ジャパン・オープン(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	ダイワ・バリュース株・オープン(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	りそな日本株リサーチ戦略ファンド(適格機関投資家専用)
	りそな国内株式リサーチ α ファンド(適格機関投資家専用)
	りそな国内株式グローバル企業ファンド(適格機関投資家専用)
	RM国内株式マザーファンド
FWリそな先進国債券 アクティブファンド	三菱UFJ国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)
	ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)
	グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)
	ブランディワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	Amundi Funds パイオニア・US・コーポレート・ボンド(クラスI2 JPY)
	RM先進国債券マザーファンド
FWリそな先進国+ 新興国債券アクティブ ファンド	三菱UFJ国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)
	ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)
	グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)
	ブランディワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	Amundi Funds パイオニア・US・コーポレート・ボンド(クラスI2 JPY)
	RM先進国債券マザーファンド
	GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)
	エマーシング債券ファンド(為替戦略型)(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	RM新興国債券マザーファンド

	投資信託証券
FWりそな先進国株式アクティブファンド	シュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)
	インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	コクサイ計量株式ファンド(適格機関投資家専用)
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)
	フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)
	りそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)
	RM先進国株式マザーファンド
FWりそな先進国+新興国株式アクティブファンド	シュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)
	インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	コクサイ計量株式ファンド(適格機関投資家専用)
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)
	フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)
	りそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)
	RM先進国株式マザーファンド
	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)
	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)
	UBS 新興国株式厳選投資ファンド(適格機関投資家専用)
RM新興国株式マザーファンド	
FWりそな絶対収益アクティブファンド	ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家専用)
	FOFs用GBCAファンドR(適格機関投資家専用)
	世界株式トレンドフォローLS戦略(FOFs用/適格機関投資家専用)
	りそなDAAマルチアセットファンド(適格機関投資家専用)
	りそな国内株式マーケットニュートラル(FOFs用)(適格機関投資家専用)
	RMマネーマザーファンド
FWりそな国内リートインデックスオープン	RM国内リートマザーファンド
FWりそな先進国リートインデックスオープン	RM先進国リートマザーファンド

FWりそな円建債券 アクティブファンド

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	8,905円
純資産総額	131,516百万円
第7期	
騰落率	△ 4.7%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「FWりそな円建債券アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内債券や為替を対円でヘッジした先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

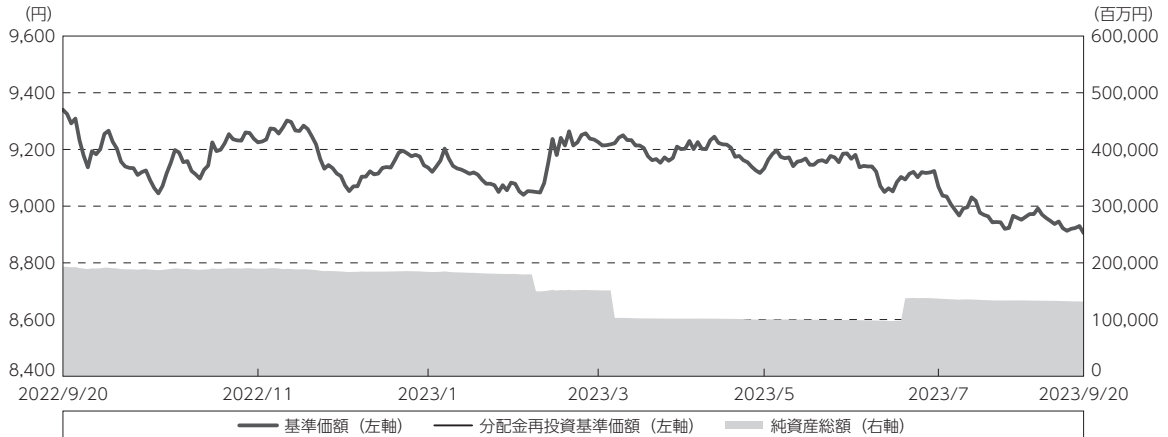
ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期首：9,340円

期末：8,905円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 4.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、主にネオ・ヘッジ付債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)の下落が当ファンドの値下がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	33	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.297)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.033)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	34	0.364	
期中の平均基準価額は、9,137円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

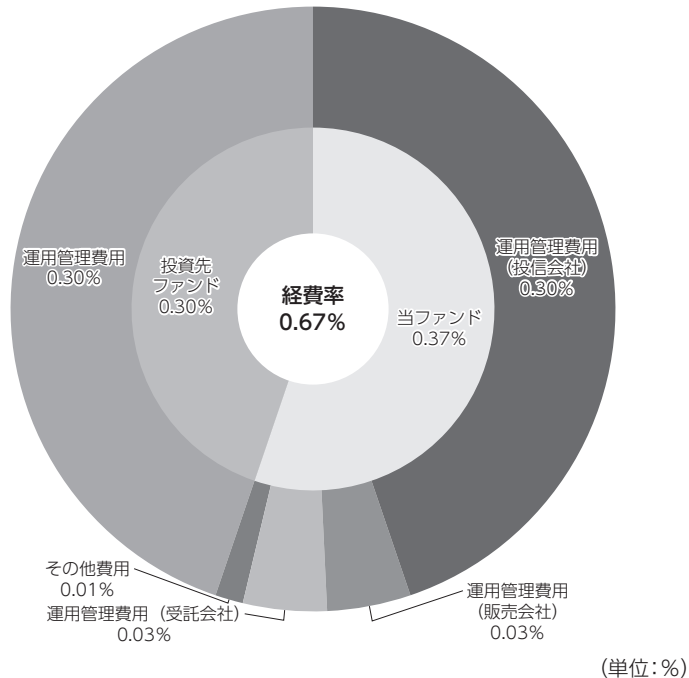
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.67%です。



経費率 (①+②)	0.67
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

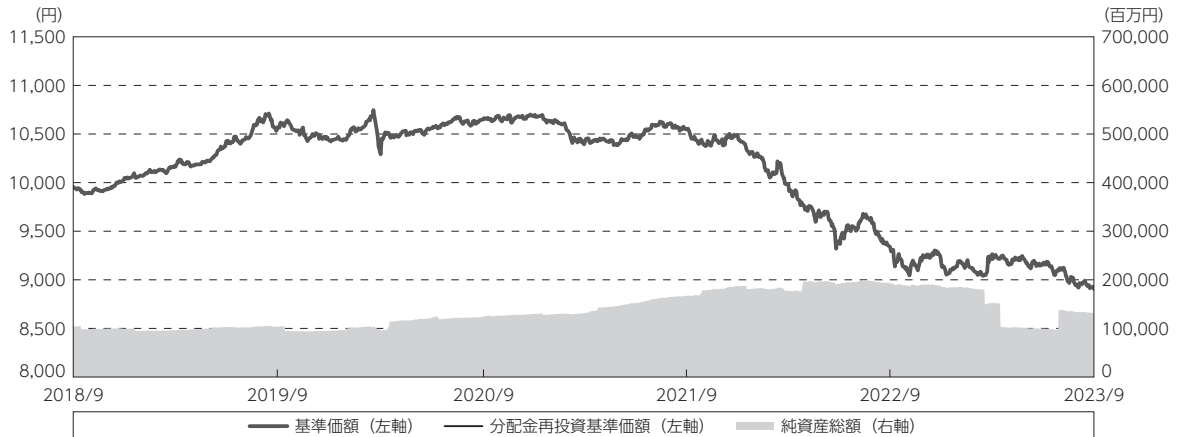
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	9,956	10,570	10,651	10,547	9,340	8,905
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.2	0.8	△ 1.0	△ 11.4	△ 4.7
純資産総額 (百万円)	103,820	103,788	123,927	166,854	193,128	131,516

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

国内債券市況

国内の長期金利は、前期末と比較して上昇（債券価格は下落）しました。期初は、日銀による金融緩和策継続を受けて10年国債利回りは0.25%近辺で横ばいの推移となりました。2022年12月には、日銀が長期金利の変動許容幅を±0.5%へ拡大し、10年国債利回りは0.5%近辺まで急上昇しました。その後、米国の一部の中堅銀行の破綻などを契機に国内の長期金利は大きく変動する場面もみられましたが、2023年7月の金融政策決定会合では、運営の柔軟性確保を目的にイールドカーブ・コントロール政策（長短金利操作）が一部修正され、10年国債利回りは0.7%台まで上昇しました。

先進国債券市況

先進国の長期金利は、前期末と比較して上昇（債券価格は下落）しました。主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制姿勢を強め、急速なペースでの利上げを継続したことから先進国の金利水準は上昇しました。2023年3月以降、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国の長期金利が低下する場面もみられました。その後は、主要国中央銀行（日本除く）が政策金利を高い水準で維持するとの見方が強まり、金利は反転上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内債券や為替を対円でヘッジした先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中に以下の指定投資信託証券の入替を行いました。

〈追加〉

ネオ・ジャパン債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

グローバル債券アクティブオープン（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
明治安田日本債券アクティブ・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	14.9%	18.4%	-2.8%
アムンディ円債アクティブ・ファンド (適格機関投資家専用)	9.2%	11.6%	-2.7%
りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ (適格機関投資家専用)	6.0%	4.0%	-2.8%
ネオ・ジャパン債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	9.8%	-2.7%
ネオ・ヘッジ付債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	32.3%	17.3%	-5.9%
キャリーエンハスト・グローバル債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	21.8%	20.1%	-2.7%
Oneヘッジ付外国債券アクティブファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	14.3%	5.4%	-7.7%
グローバル債券アクティブオープン (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	-	11.9%	-6.1%
RM国内債券マザーファンド	0.1%	0.9%	-2.3%
RM先進国債券マザーファンド (為替ヘッジあり)	1.0%	0.2%	-6.4%

※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

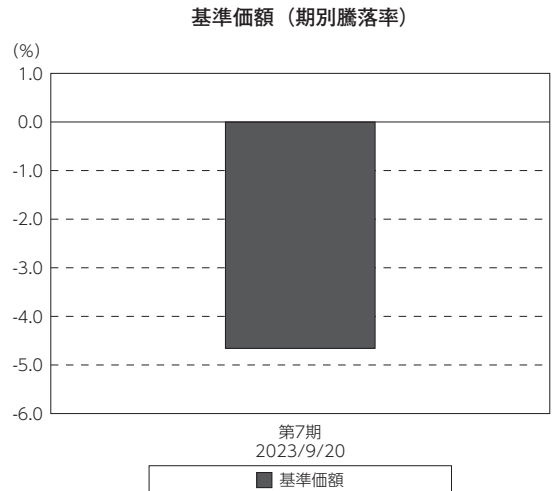
※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

※期中に追加された指定投資信託証券については、組入時点から当期末までの騰落率です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	653

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内債券や為替を対円でヘッジした先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

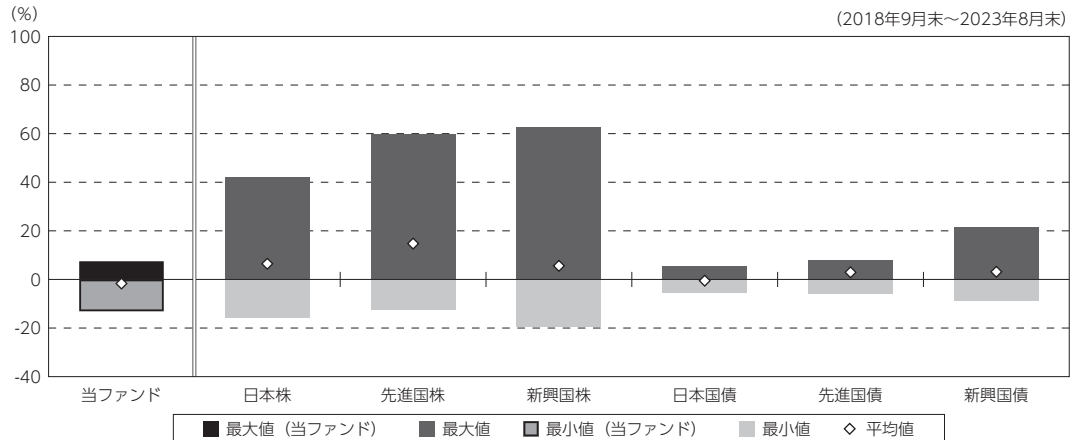
- ・投資対象とする指定投資信託証券を追加するため、約款に所要の変更を行いました。(2022年12月21日、2023年6月21日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じ、実質的に国内債券や為替を対円でヘッジした先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行います。</p> <p>②指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。</p> <p>③指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。</p> <p>④指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。</p> <p>⑤各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。</p>
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 13.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 1.7	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

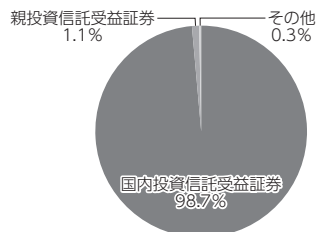
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
キャリアエンハンスト・グローバル債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	20.1
明治安田日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	18.4
ネオ・ヘッジ付債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	17.3
その他	43.9
組入銘柄数	10銘柄

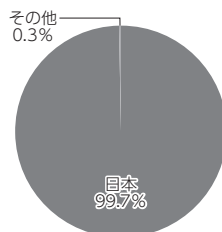
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

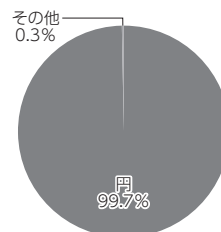
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
	2023年9月20日	
純資産総額	131,516,700,428円	
受益権総口数	147,695,389,026口	
1万口当たり基準価額	8,905円	

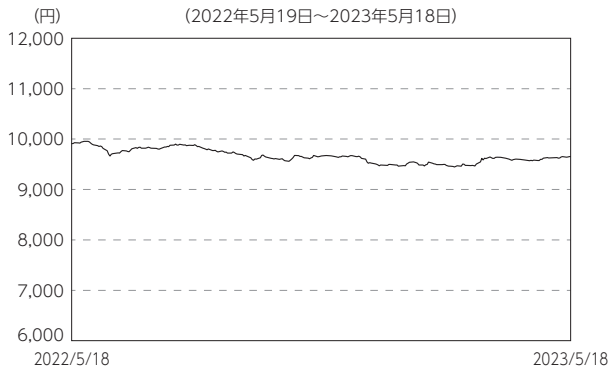
(注) 期中における追加設定元本額は52,930,700,593円、同解約元本額は112,002,573,518円です。

組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

キャリーエンハンスト・グローバル債券ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月19日~2023年5月18日)

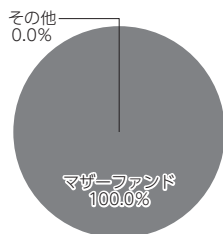
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	14 (12) (1) (2)	0.148 (0.121) (0.005) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (1) (0)	0.015 (0.008) (0.005) (0.001)
合 計	16	0.163

期中の平均基準価額は、9,664円です。

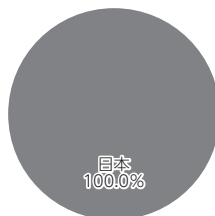
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンド	100.0
コールローン等、その他	0.0

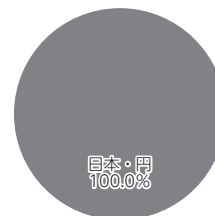
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年5月18日現在のものです。

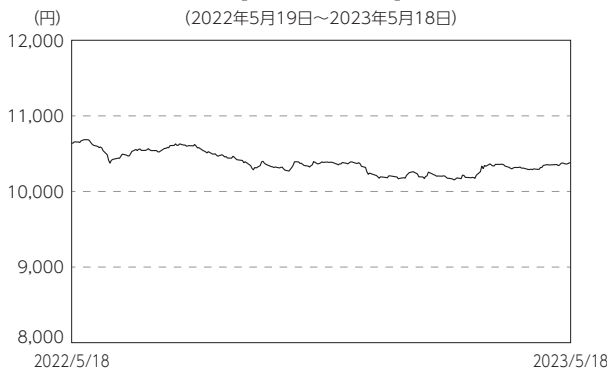
(注) 組入上位ファンド、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ キャリーエンハンスト・グローバル債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月19日～2023年5月18日)

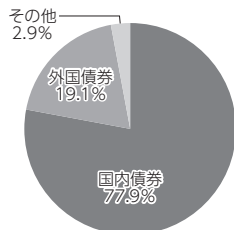
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	1	0.009
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)
(そ の 他)	(0)	(0.001)
合 計	1	0.009

期中の平均基準価額は、10,381円です。

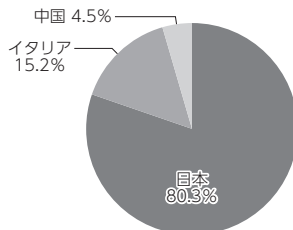
【組入上位10銘柄】

銘 柄 名	通 貨	比 率
		%
1 154 5年国債	日本・円	25.5
2 156 5年国債	日本・円	24.6
3 BUONI POLIENNALI DEL TES 4.4 05/01/33	ユーロ	13.3
4 171 20年国債	日本・円	9.1
5 350 10年国債	日本・円	6.7
6 150 20年国債	日本・円	4.6
7 CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	オフショア・人民元	4.4
8 155 20年国債	日本・円	4.3
9 165 20年国債	日本・円	3.1
10 BUONI POLIENNALI DEL TES 0.5 07/15/28	ユーロ	1.5
組入銘柄数		10銘柄

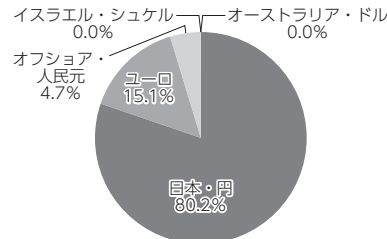
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 通貨別配分は為替ヘッジ前の比率です。外貨建資産に対して対円を為替ヘッジを行っています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年5月18日現在のものです。

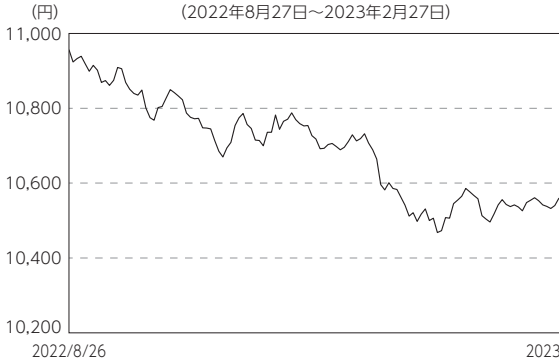
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

明治安田日本債券アクティブ・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年8月27日～2023年2月27日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	11 (10) (0) (1)	0.100 (0.089) (0.003) (0.008)
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	0 (0) (0) (0)	0.004 (0.000) (0.001) (0.003)
合計	11	0.104

期中の平均基準価額は、10,706円です。

2022/8/26

2023/2/27

【組入上位10銘柄】

銘柄名	債券種類	利率	償還日	組入比率
1 第1回 武田薬品工業無担保社債(劣後特約付)	社債	1.72%	2079年6月6日	4.4%
2 第2回 ビューリック無担保社債(劣後特約付)	社債	1.28	2055年7月2日	3.7
3 第156回 利付国債5年	国債	0.2	2027年12月20日	3.4
4 第351回 利付国債10年	国債	0.1	2028年6月20日	3.1
5 第1回 アサヒグループホールディングス無担保社債(劣後特約付)	社債	0.97	2080年10月15日	3.0
6 第360回 利付国債10年	国債	0.1	2030年9月20日	2.9
7 第1回 住友化学無担保社債(劣後特約付)	社債	1.3	2079年12月13日	2.7
8 第24回 ルノー円貨社債	社債	1.54	2024年7月5日	2.6
9 第9回 ビー・ピー・シー・イー・エス・エー円貨社債(劣後特約付)	社債	1.1	2031年12月16日	2.5
10 第1回 ドンキホーテホールディングス無担保社債(劣後特約付)	社債	1.49	2053年11月28日	2.3
組入銘柄数	114銘柄			

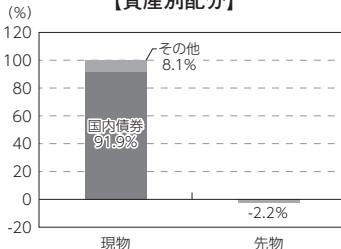
(注) 上記のうち、償還日が「-」の場合は、永久債です。

【国内先物銘柄】

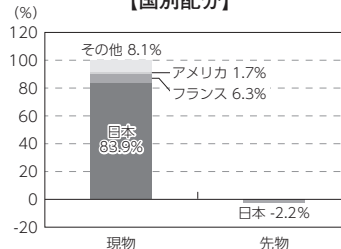
銘柄名	売 / 買	組入比率
10年国債標準物	売建	2.2%
組入銘柄数	1銘柄	

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

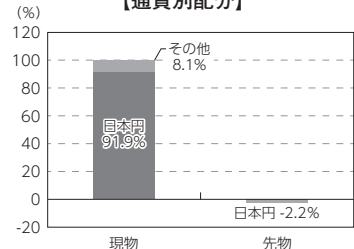
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分は、原則として発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) 先物の比率は買建と売建を別々に表示しています。

(注) オプション取引は除きます。

(注) その他は円建ての金融資産等です。

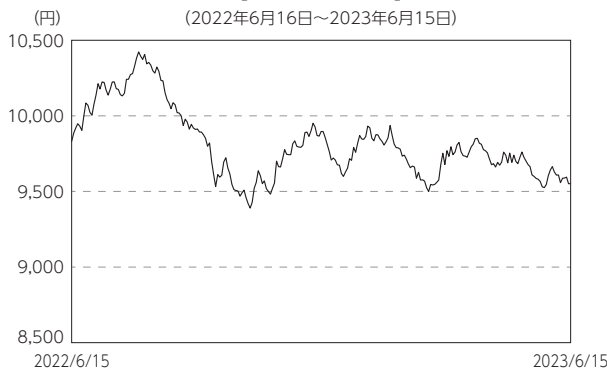
(注) 組入上位10銘柄、国内先物銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年2月27日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

ネオ・ヘッジ付債券ファンド[®] (FOFs用) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月16日～2023年6月15日)

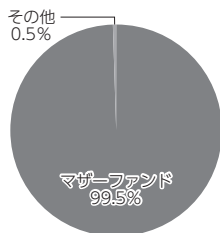
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	46 (43) (1) (2)	0.473 (0.440) (0.011) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	0 (0)	0.003 (0.003)
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0) (0)	0.021 (0.016) (0.004) (0.002)
合 計	49	0.497

期中の平均基準価額は、9,811円です。

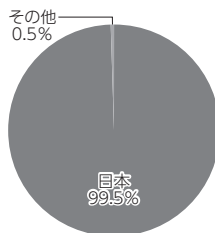
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
	%
ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド	99.5
その他	0.5

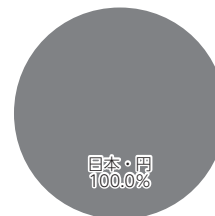
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

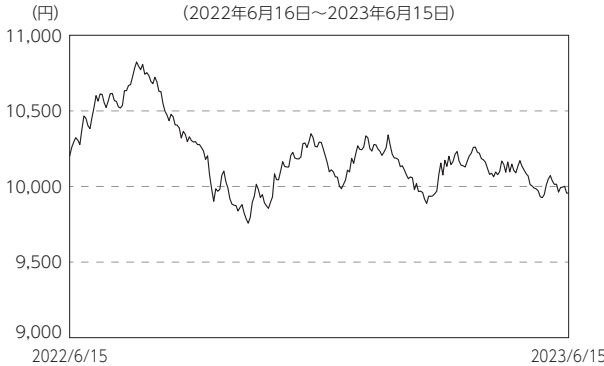


(注) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月15日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> ネオ・ヘッジ付債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

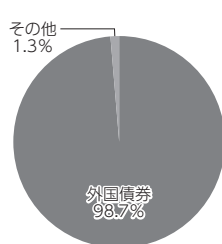
(2022年6月16日～2023年6月15日)

項目	円
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)
(b) 有価証券取引税	-
(c) その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合計	2

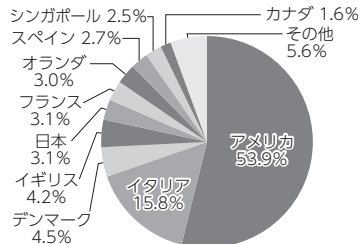
【組入上位10銘柄】

銘柄名	通貨	比率
1 Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 4.5% 2026/3/1	ユーロ	9.1%
2 United States Treasury Note/Bond 1.875% 2041/2/15	アメリカ・ドル	7.2%
3 United States Treasury Note/Bond 0.75% 2028/1/31	アメリカ・ドル	6.8%
4 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.375% 2033/5/15	アメリカ・ドル	6.2%
5 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2033/2/15	アメリカ・ドル	5.9%
6 DANISH GOVERNMENT BOND 2.25% 2033/11/15	デンマーク・クローネ	4.5%
7 GINNIE MAE II POOL MA8947 5.0% 2053/6/20	アメリカ・ドル	4.2%
8 ITALIAN GOVERNMENT BOND 0.6% 2031/8/1	ユーロ	4.0%
9 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.25% 2052/2/15	アメリカ・ドル	3.7%
10 UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.75% 2032/8/15	アメリカ・ドル	3.2%
組入銘柄数		75銘柄

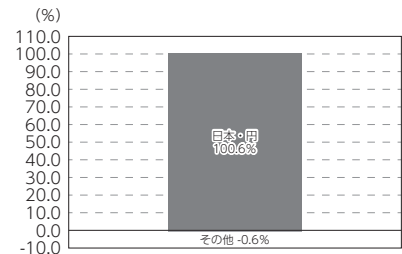
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月15日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

F Wりそな国内株式 アクティブファンド

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	17,395円
純資産総額	63,909百万円
第7期	
騰落率	21.9%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「F Wりそな国内株式アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

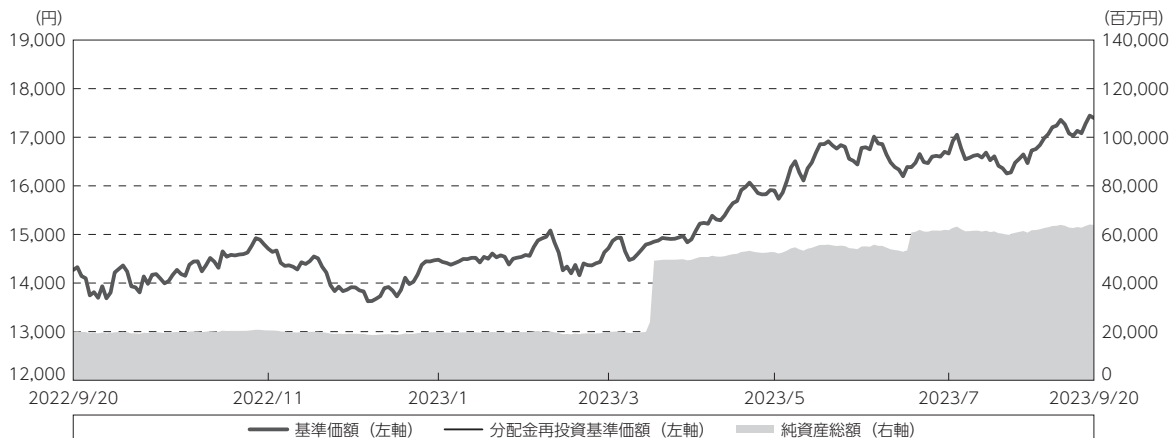
ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期 首：14,270円

期 末：17,395円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 21.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、主にりそな日本株リサーチ戦略ファンド(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	54	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(45)	(0.297)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.007	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	55	0.364	
期中の平均基準価額は、15,121円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含まず。

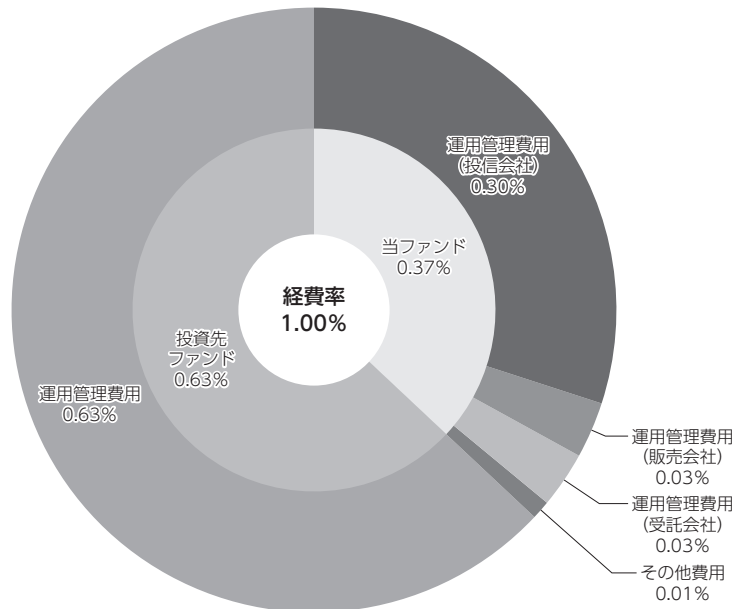
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.00%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	1.00
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.63

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

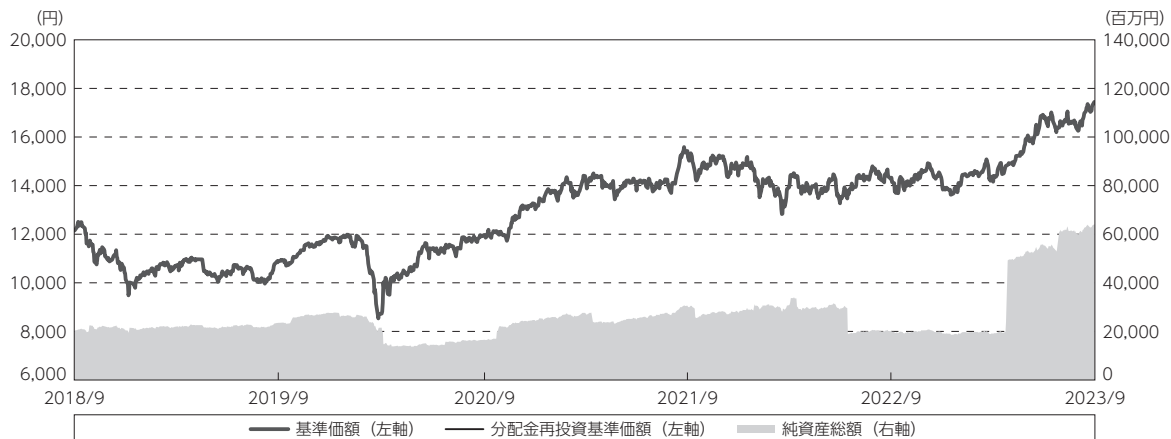
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	12,145	10,891	11,971	15,425	14,270	17,395
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 10.3	9.9	28.9	△ 7.5	21.9
純資産総額 (百万円)	20,165	23,530	16,547	30,592	20,053	63,909

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

国内株式市況

国内の株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、国内経済の正常化進展への期待や円安進行などが支援材料となり緩やかに上昇しました。期後半は、米欧を中心とする金融システム不安に対する警戒感から相場が不安定化する場面もみられましたが、国内企業の資本効率改善への期待感や他国対比で緩和的な金融環境が続いたことなどが相場の下支えとなり、国内株式市場は上昇しました。東証株価指数（TOPIX）や日経平均株価（日経225）は1990年以来の高値まで上昇する場面もみられました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中は指定投資信託証券の入替は行いませんでした。

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
ダイワ・ジャパン・オープン (FOFs用) (適格機関投資家専用)	24.4%	28.5%	20.6%
ダイワ・バリュー株・オープン (FOFs用) (適格機関投資家専用)	9.3%	10.3%	34.4%
りそな日本株リサーチ戦略ファンド (適格機関投資家専用)	28.6%	29.4%	24.7%
りそな国内株式リサーチαファンド (適格機関投資家専用)	25.6%	23.9%	21.7%
りそな国内株式グローバル企業ファンド (適格機関投資家専用)	9.5%	7.4%	19.2%
RM国内株式マザーファンド	2.4%	0.3%	26.9%

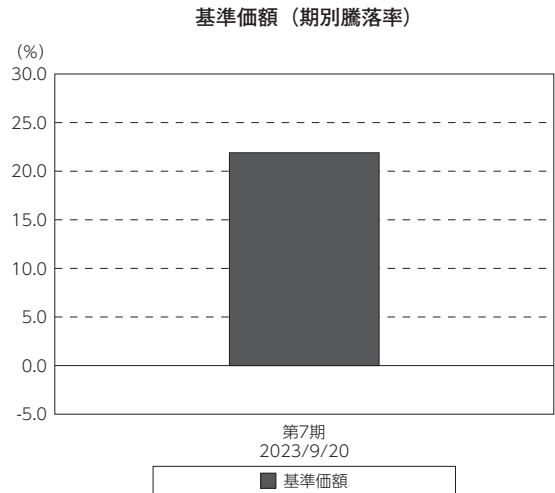
※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,394

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

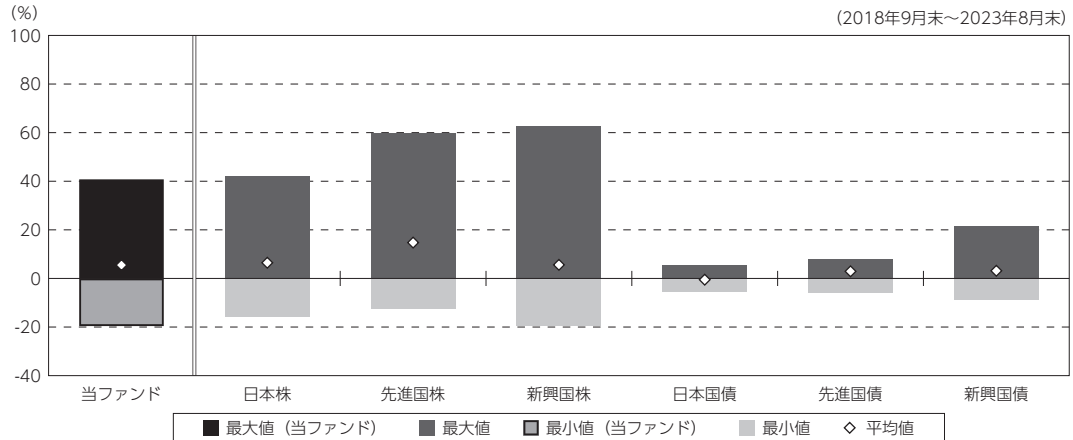
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じ、実質的に国内株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。</p> <p>②指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。</p> <p>③指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。</p> <p>④各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。</p>
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	40.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 19.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.5	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

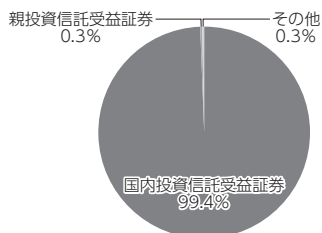
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
リそな日本株リサーチ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	29.4
ダイワ・ジャパン・オープン(FOFs用)(適格機関投資家専用)	28.5
リそな国内株式リサーチαファンド(適格機関投資家専用)	23.9
その他	17.9
組入銘柄数	6銘柄

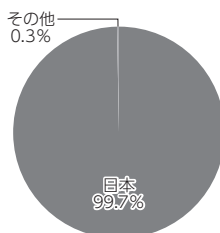
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

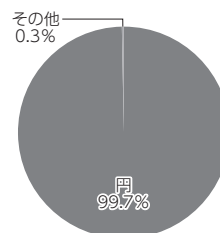
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
	2023年9月20日	
純資産総額	63,909,402,327円	
受益権総口数	36,740,962口	
1万口当たり基準価額	17,395円	

(注) 期中における追加設定元本額は27,107,162,303円、同解約元本額は4,419,338,176円です。

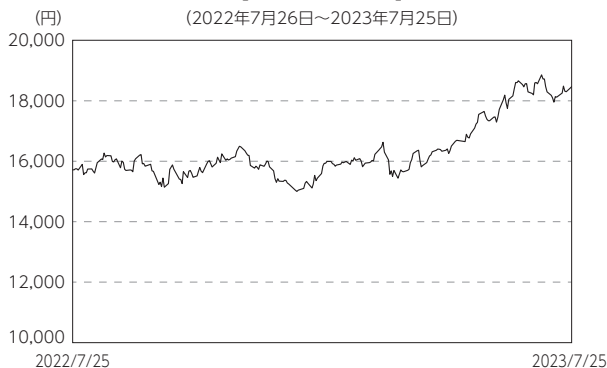
組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

りそな日本株リサーチ戦略ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年7月26日～2023年7月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月26日～2023年7月25日)

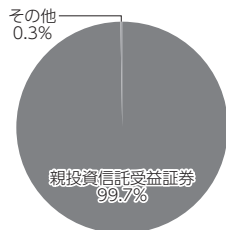
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	116 (107) (4) (5)	0.715 (0.660) (0.022) (0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	44 (44) (1)	0.272 (0.268) (0.003)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.005) (0.001)
合 計	161	0.993

期中の平均基準価額は、16,223円です。

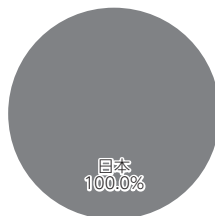
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
アムンディ日本株リサーチ戦略マザーファンド	99.7%
組入銘柄数	1銘柄

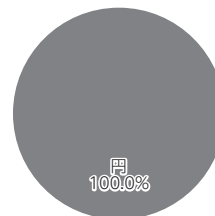
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年7月25日現在のものです。

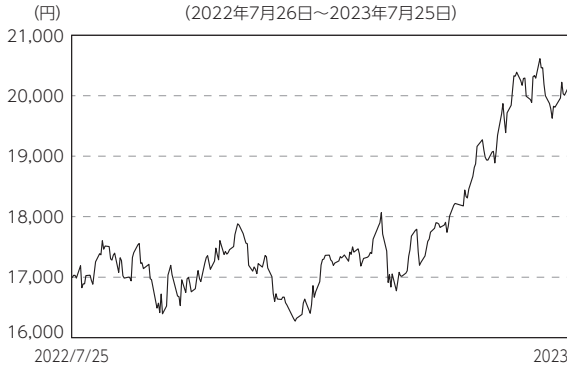
(注) 組入上位ファンド、資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> アムンディ日本株リサーチ戦略マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

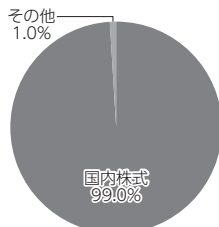
(2022年7月26日～2023年7月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	44 (43) (1)	0.249 (0.246) (0.003)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	44	0.249
期中の平均基準価額は、17,624円です。		

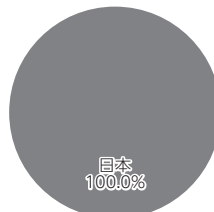
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種	比 率
			%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.4
2	日本電信電話	情報・通信業	3.6
3	ソニーグループ	電気機器	3.3
4	三井物産	卸売業	3.2
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2
6	信越化学工業	化学	3.1
7	キーエンス	電気機器	3.0
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.8
9	日立製作所	電気機器	2.8
10	第一三共	医薬品	2.1
組入銘柄数		74銘柄	

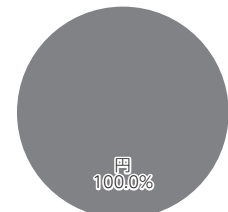
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年7月25日現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

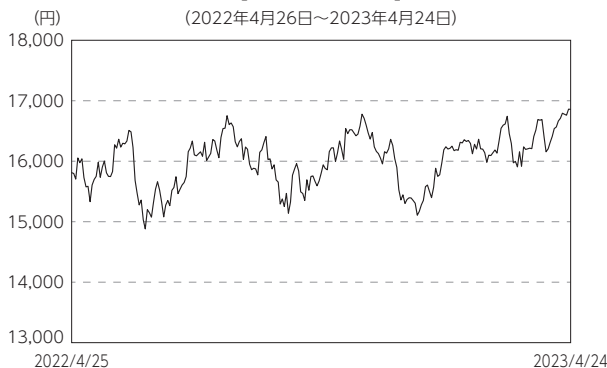
(注) 国別配分、通貨別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

ダイワ・ジャパン・オープン（FOFs用）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年4月26日～2023年4月24日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年4月26日～2023年4月24日)

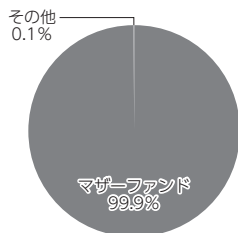
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	112 (105) (4) (4)	0.702 (0.658) (0.022) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	37 (36) (1)	0.229 (0.225) (0.004)
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—
(d) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	1 (1)	0.005 (0.005)
合 計	150	0.936

期中の平均基準価額は、16,008円です。

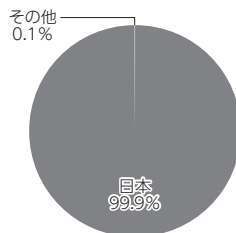
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
	%
ダイワ・ジャパン・オープン・マザーファンド	99.9
その他	0.1

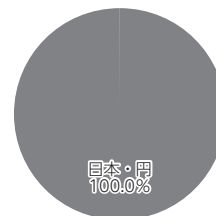
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年4月24日現在のものです。

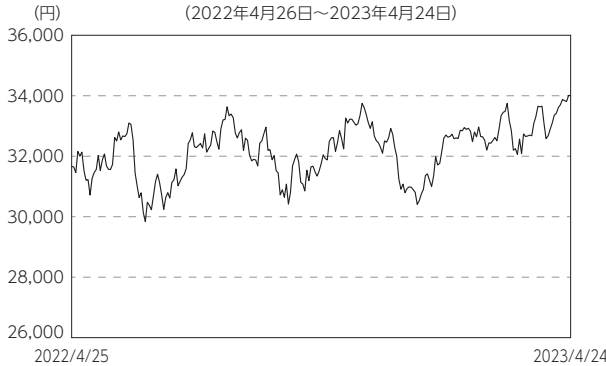
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ ダイワ・ジャパン・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年4月26日～2023年4月24日)



【1万口当たりの費用明細】

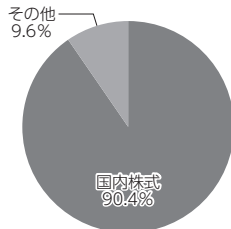
(2022年4月26日～2023年4月24日)

項目	円
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	66 (65) (1)
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用	—
合計	66

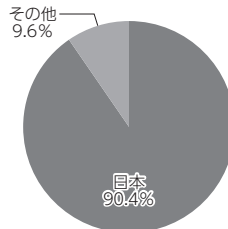
【組入上位10銘柄】

銘柄名	比率
1 ソニーグループ	7.2%
2 キーエンス	7.2%
3 信越化学	6.3%
4 ディスコ	4.6%
5 デンソー	4.2%
6 オリエンタルランド	4.0%
7 ダイキン工業	4.0%
8 日本電信電話	4.0%
9 第一三共	3.9%
10 任天堂	3.0%
組入銘柄数	67銘柄

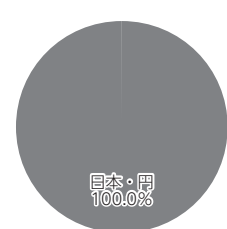
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

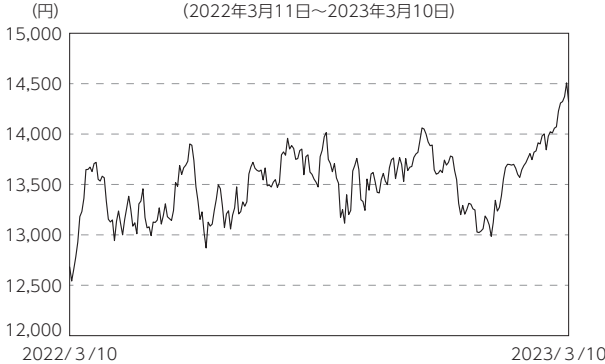


(注) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年4月24日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

いそな国内株式リサーチαファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月11日～2023年3月10日)

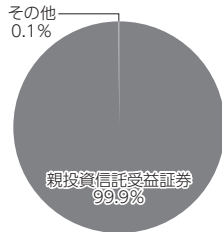
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	72 (67) (1) (3)	0.528 (0.495) (0.011) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	17 (17)	0.125 (0.125)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.000)
合 計	90	0.660

期中の平均基準価額は、13,556円です。

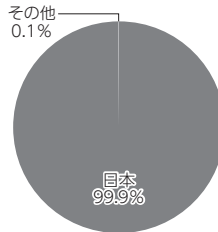
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比率
RM国内株式リサーチαマザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

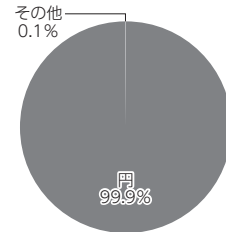
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

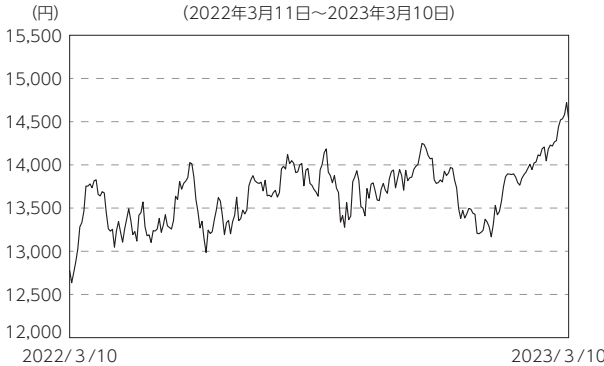


(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年3月10日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> RM国内株式リサーチαマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

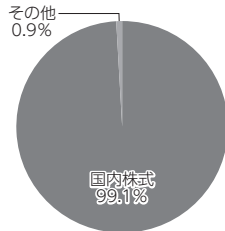
(2022年3月11日～2023年3月10日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	17 (17)	0.125 (0.125)
(b) その他費用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	17	0.125
期中の平均基準価額は、13,713円です。		

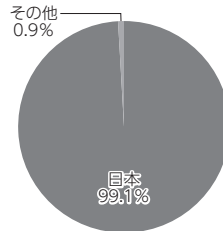
【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	2.6%
2	大日本印刷	その他製品	円	日本	2.5
3	富士通	電気機器	円	日本	2.3
4	セガサミーホールディングス	機械	円	日本	2.3
5	NIPPON EXPRESSホールディング	陸運業	円	日本	2.3
6	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	円	日本	2.3
7	リコー	電気機器	円	日本	2.3
8	東亜合成	化学	円	日本	2.3
9	ダイセキ	サービス業	円	日本	2.2
10	サカタのタネ	水産・農林業	円	日本	2.2
組入銘柄数			71銘柄		

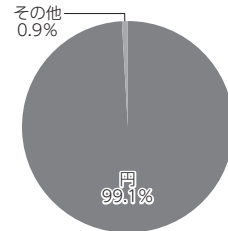
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国(地域)、国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年3月10日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

F Wりそな先進国債券 アクティブファンド

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	12,369円
純資産総額	14,761百万円
第7期	
騰落率	3.0%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「F Wりそな先進国債券アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。当ファンドは主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

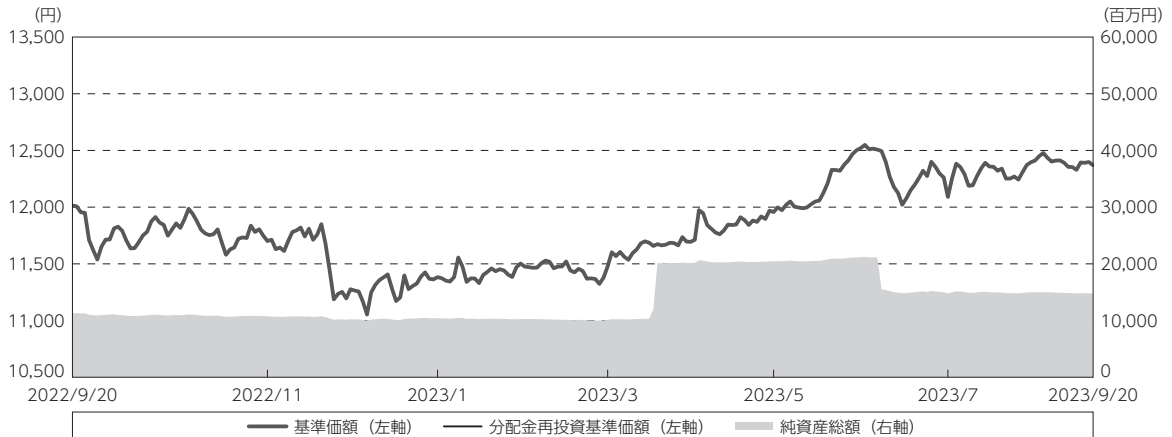
ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期首：12,013円

期末：12,369円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 3.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、主にノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	42	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(35)	(0.297)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	43	0.364	
期中の平均基準価額は、11,797円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

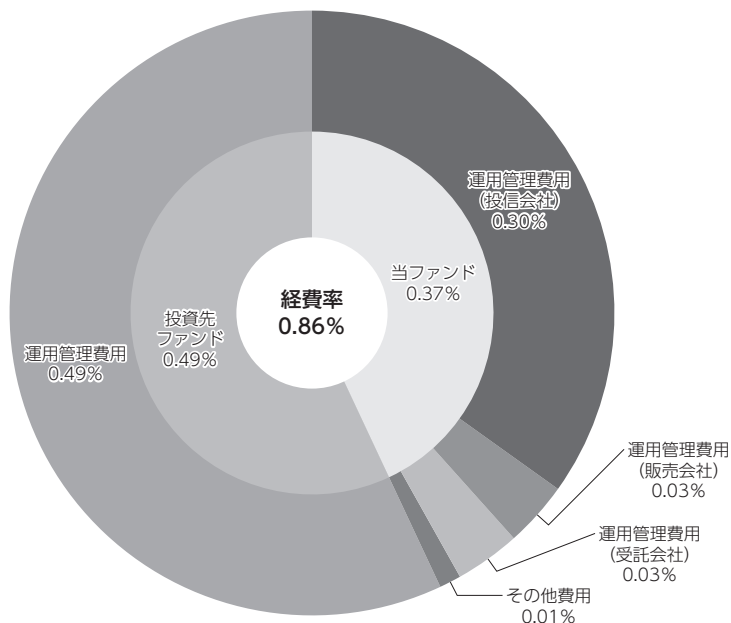
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.86%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.86
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

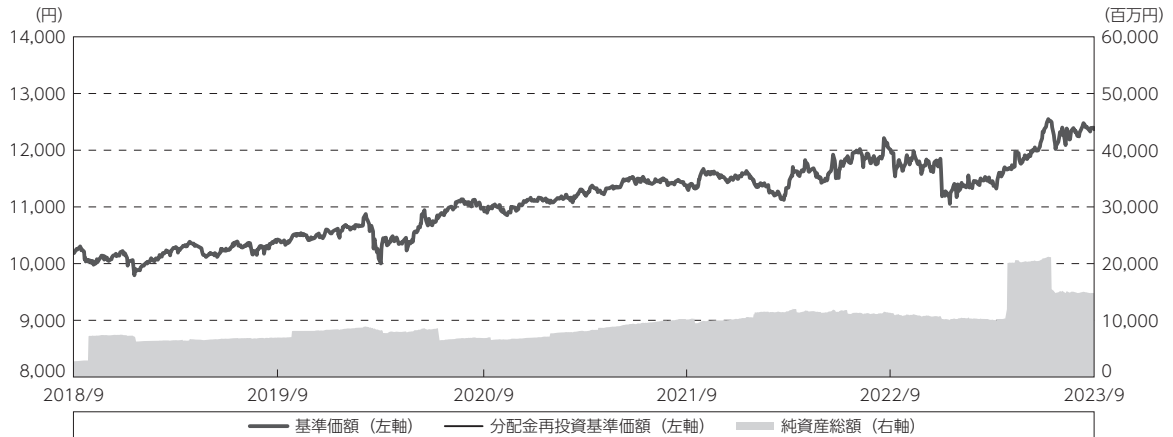
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	10,190	10,426	10,987	11,381	12,013	12,369
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.3	5.4	3.6	5.6	3.0
純資産総額 (百万円)	2,773	6,962	6,885	10,147	11,325	14,761

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

先進国債券市況

先進国の長期金利は、前期末と比較して上昇（債券価格は下落）しました。主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制姿勢を強め、急速なペースでの利上げを継続したことから先進国の金利水準は上昇しました。2023年3月以降、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国の長期金利が低下する場面もみられました。その後は、主要国中央銀行（日本除く）が政策金利を高い水準で維持するとの見方が強まり、金利は反転上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）による大幅かつ急速に利上げが進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ＝159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中は指定投資信託証券の入替は行いませんでした。

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
三菱UFJ国際海外債券オープン(適格機関投資家限定)	30.8%	18.8%	2.4%
ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)	17.2%	24.8%	4.1%
グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	23.9%	19.2%	4.3%
ブランディワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	17.5%	26.8%	3.9%
Amundi Funds パイオニア・US・コーポレート・ボンド(クラスI2 JPY)	10.5%	9.5%	4.8%
RM先進国債券マザーファンド	0.1%	0.1%	3.2%

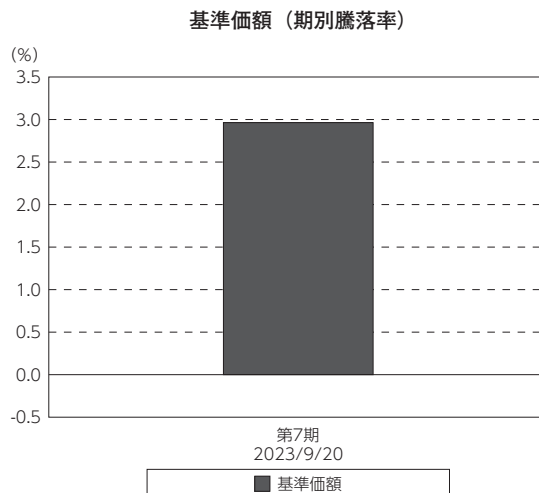
※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,602

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

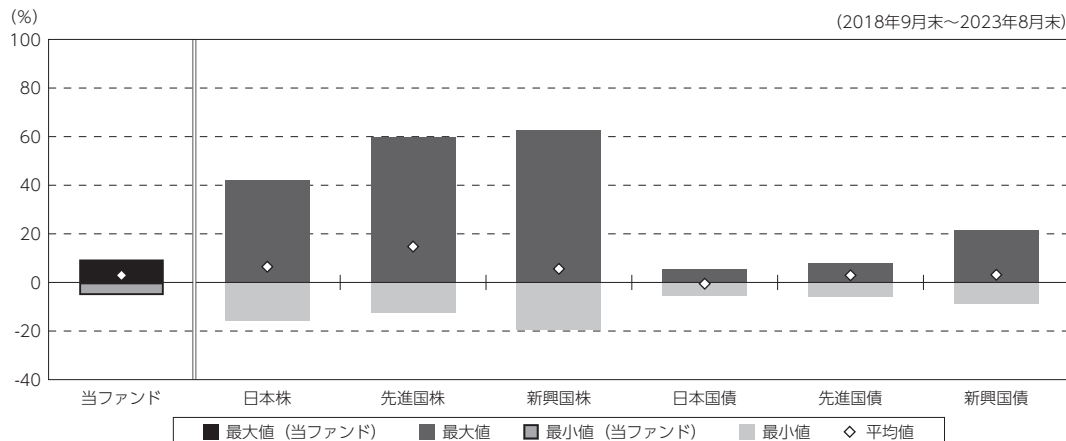
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>②指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。</p> <p>③指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。</p> <p>④指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。</p> <p>⑤各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。</p>
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	9.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 5.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	2.9	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

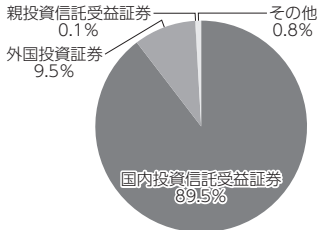
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
ブランドワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	26.8
ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)	24.8
グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	19.2
その他	28.4
組入銘柄数	6銘柄

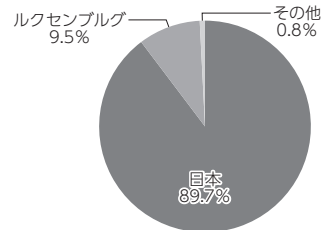
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

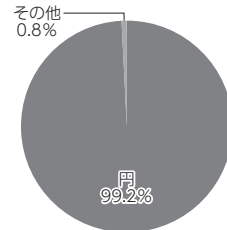
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
	2023年9月20日	
純資産総額	14,761,831,557円	
受益権総口数	11,934,249,469口	
1万口当たり基準価額	12,369円	

(注) 期中における追加設定元本額は9,255,388,573円、同解約元本額は6,749,080,786円です。

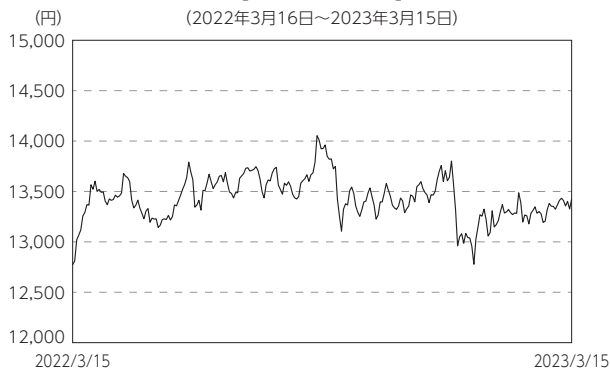
組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

ブランディワイン外国債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年3月16日～2023年3月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月16日～2023年3月15日)

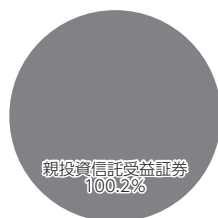
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	56	0.418
（ 投 信 会 社 ）	(50)	(0.369)
（ 販 売 会 社 ）	(3)	(0.022)
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)
(b) そ の 他 費 用	7	0.055
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.040)
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.005)
（ そ の 他 1 ）	(0)	(0.002)
（ そ の 他 2 ）	(0)	(0.000)
合 計	63	0.473

期中の平均基準価額は、13,440円です。

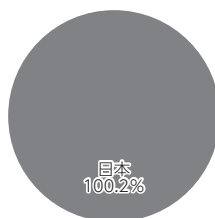
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
ブランディワイン外国債券マザーファンド	100.2
組入銘柄数	1銘柄

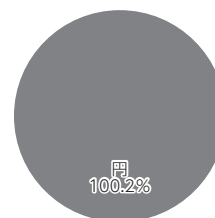
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分は、原則として発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年3月15日現在のものです。

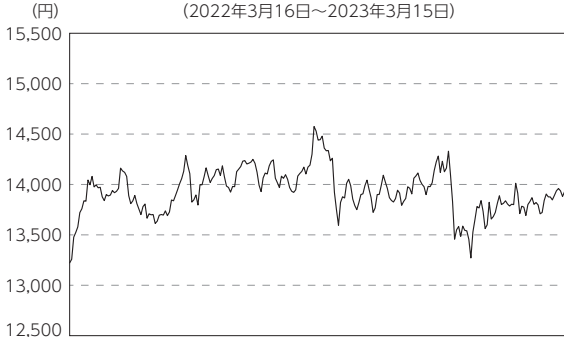
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> ブランディワイン外国債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年3月16日～2023年3月15日)



2022/3/15

2023/3/15

【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	6	0.044
(保 管 費 用)	(6)	(0.040)
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)
(そ の 他 1)	(0)	(0.002)
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)
合 計	6	0.044

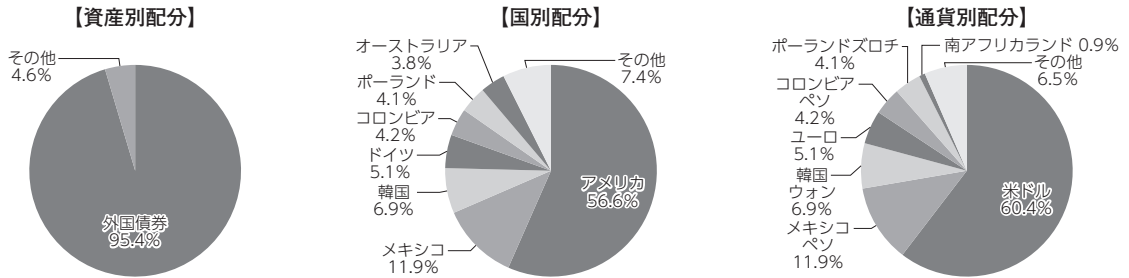
期中の平均基準価額は、13,939円です。

【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	US TREASURY FRN 4.6859987% 2024/7/31	国債証券	米ドル	アメリカ	16.8
2	US TREASURY NOTE 2.25% 2052/2/15	国債証券	米ドル	アメリカ	9.1
3	US TREASURY NOTE 1.875% 2051/11/15	国債証券	米ドル	アメリカ	5.5
4	KOREA TREASURY BOND 2% 2031/6/10	国債証券	韓国ウォン	韓国	5.2
5	BUNDES REPUBLIC DE 1.7% 2032/8/15	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.1
6	US TREASURY NOTE 3% 2052/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	4.7
7	GNMA2 #MA8348 5% 2052/10/20	特殊債券	米ドル	アメリカ	4.2
8	POLAND GOVT 1.75% 2032/4/25	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	4.1
9	COLOMBIA GOVT 9.25% 2042/5/28	国債証券	コロンビアペソ	コロンビア	2.9
10	MEXICAN BONOS DESARR FIX 8.5% 2038/11/18	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	2.8
	組入銘柄数			35銘柄	

【スワップ及び先渡取引残高】

種 類	取引契約残高
	当期末想定元本額
	百万円
直物為替先渡取引	
BARCLAYS BANK JAPAN	219
CITIBANK JAPAN	629
JPMORGAN CHASE BANK	1,395



(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国もしくは投資国を表示しております。

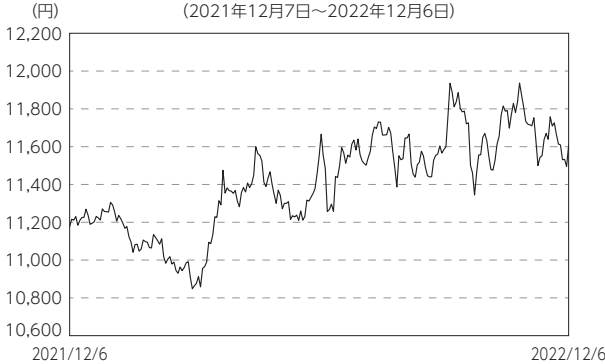
(注) 組入上位10銘柄、スワップ及び先渡取引残高、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年3月15日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年12月7日～2022年12月6日)

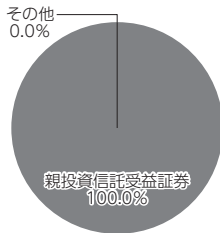
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	56 (50) (3) (3)	0.489 (0.440) (0.022) (0.027)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1)	0.011 (0.011)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.013 (0.009) (0.002) (0.002)
合 計	58	0.513

期中の平均基準価額は、11,440円です。

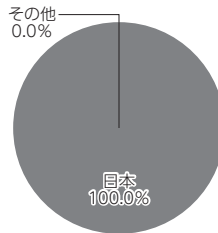
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
海外アクティブ債券マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

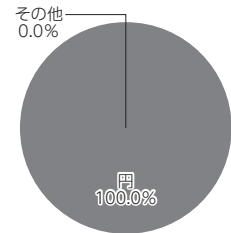
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年12月6日現在のものです。

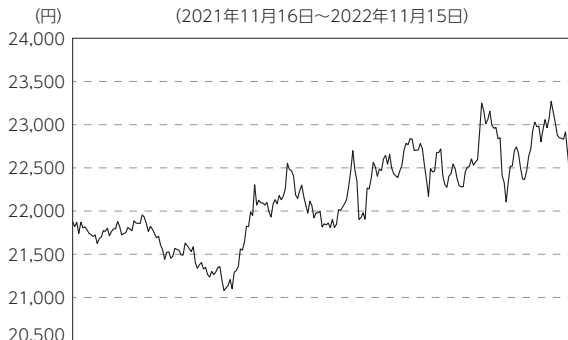
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> 海外アクティブ債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2021年11月16日～2022年11月15日)



2021/11/15

2022/11/15

【1万口当たりの費用明細】

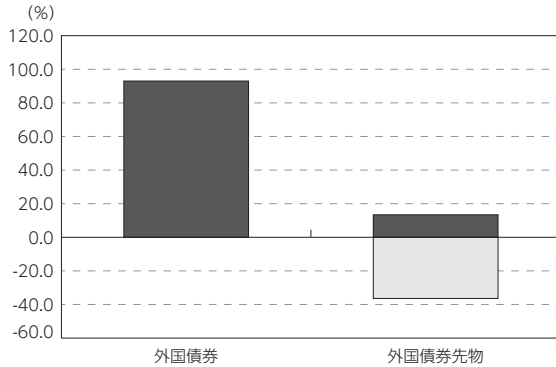
(2021年11月16日～2022年11月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	3 (3)	0.011 (0.011)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.010 (0.008) (0.002)
合 計	5	0.021
期中の平均基準価額は、22,183円です。		

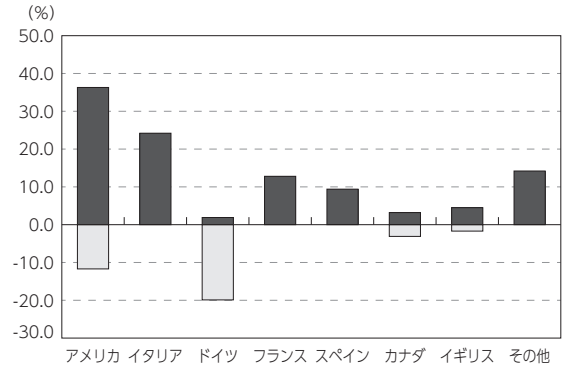
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	SCHATZ 2212	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	15.2%
2	2Y-TNOTE2212	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	10.4
3	T-ULTRA 2212	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	7.0
4	US TREASURY N/B 0.25% 2025/9/30	国債	米ドル	アメリカ	7.0
5	MEX BONOS DESARR FIX RT 6.75% 2023/3/9	国債	メキシコペソ	メキシコ	5.7
6	BUONI POLIENNALI DEL TES 0.95% 2023/3/15	国債	ユーロ	イタリア	4.9
7	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 4.4% 2023/10/31	国債	ユーロ	スペイン	4.8
8	5Y-TNOTE2212	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	4.7
9	BOBL 2212	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	3.6
10	US TREASURY N/B 2.375% 2026/4/30	国債	米ドル	アメリカ	3.4
組入銘柄数		67銘柄			

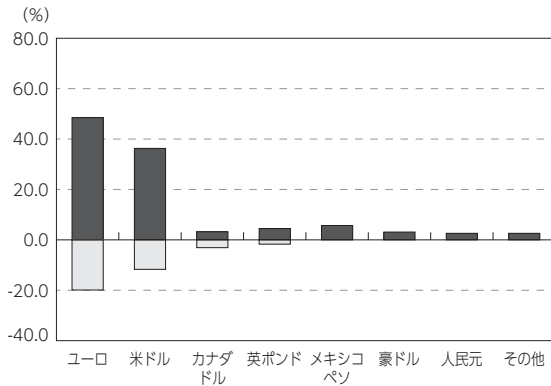
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月15日現在のものです。

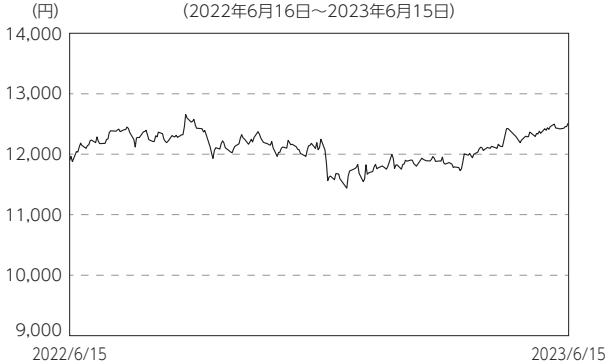
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

グローバル債券コア・ファンド[®] (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2022年6月16日～2023年6月15日)



【1万円当たりの費用明細】

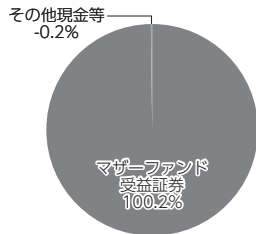
(2022年6月16日～2023年6月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	68 (60) (3) (5)	0.561 (0.495) (0.022) (0.044)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) (プ ラ イ ム プ ロ ー カ ー)	2 (2) (0)	0.016 (0.016) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	4 (1) (0) (3)	0.035 (0.012) (0.002) (0.021)
合 計	74	0.612
期中の平均基準価額は、12,108円です。		

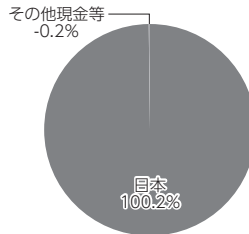
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
	%
グローバル・アグリゲート(除く日本)マザーファンド	100.2
組入銘柄数	1銘柄

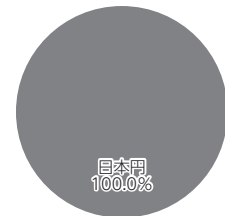
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



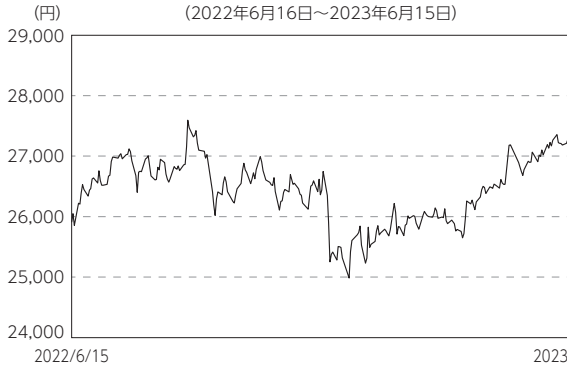
(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月15日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月16日～2023年6月15日)

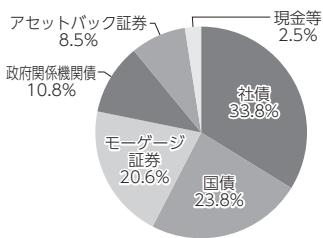
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	4 (4) (0)	0.015 (0.015) (0.000)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (3) (4)	0.027 (0.011) (0.015)
合 計	11	0.042

期中の平均基準価額は、26,439円です。

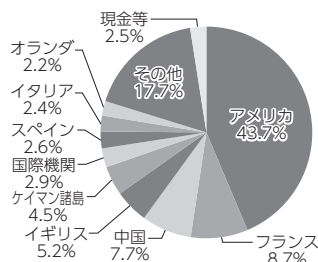
【組入上位10銘柄】

銘 柄 名	種 別	通 貨	比 率
1 フランス国債 0% 2023年7月19日	国債	EUR	4.3%
2 シダー・ファンディング 6.36029% 2031年7月17日	アセットバック証券	USD	2.5
3 中国国債 2.85% 2027年6月4日	国債	CNH	2.4
4 フレディマック 6.75% 2031年3月15日	政府関係機関債	USD	2.4
5 中国国債 3.27% 2030年11月19日	国債	CNH	1.9
6 カリフォルニア州 7.625% 2040年3月1日	政府関係機関債	USD	1.6
7 ファニーメイ 2% 2051年12月1日	モーゲージ証券	USD	1.5
8 ファニーメイ 4.5% 2052年6月1日	モーゲージ証券	USD	1.5
9 韓国国債 1.875% 2029年6月10日	国債	KRW	1.5
10 Shackleton CLO LTD 6.45043% 2034年7月20日	アセットバック証券	USD	1.3
組入銘柄数		571銘柄	

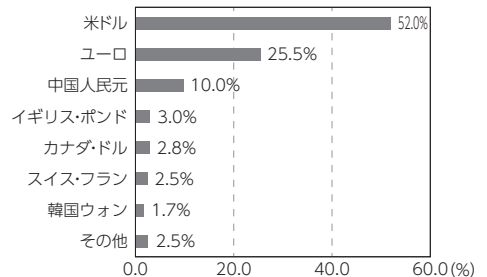
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月15日現在のものです。
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

F Wりそな先進国＋新興国債券 アクティブファンド

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)

基準価額	12,546円
純資産総額	14,261百万円
第7期	
騰落率	5.5%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「F Wりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。あわせて新興国債券へも投資を行い付加価値獲得を目指しました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

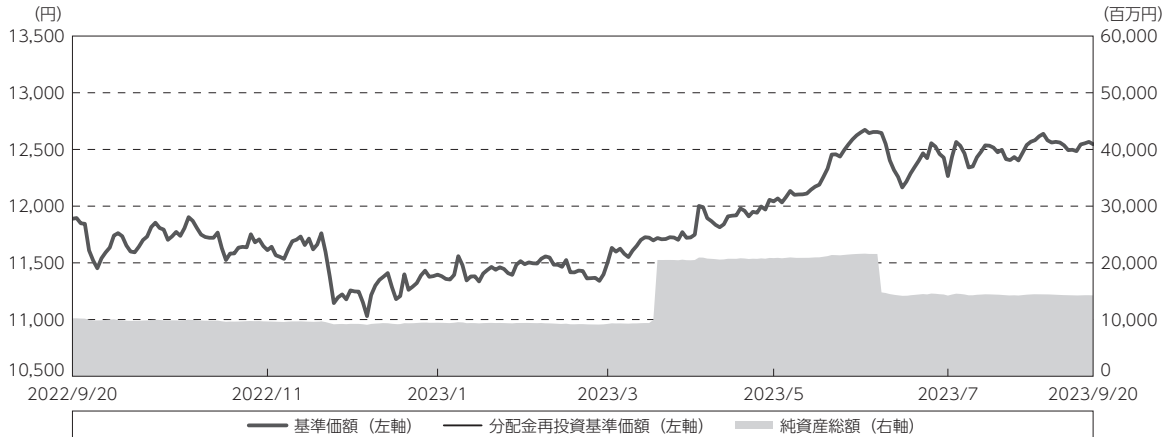
ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期首：11,889円

期末：12,546円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：5.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、先進国債券ファンドでは主にノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。新興国債券ファンドでは主にエマージング債券ファンド(為替戦略型)(FOFs用)(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	42 (35) (4) (3)	0.357 (0.297) (0.033) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (1) (0)	0.007 (0.000) (0.007) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	43	0.364	
期中の平均基準価額は、11,825円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

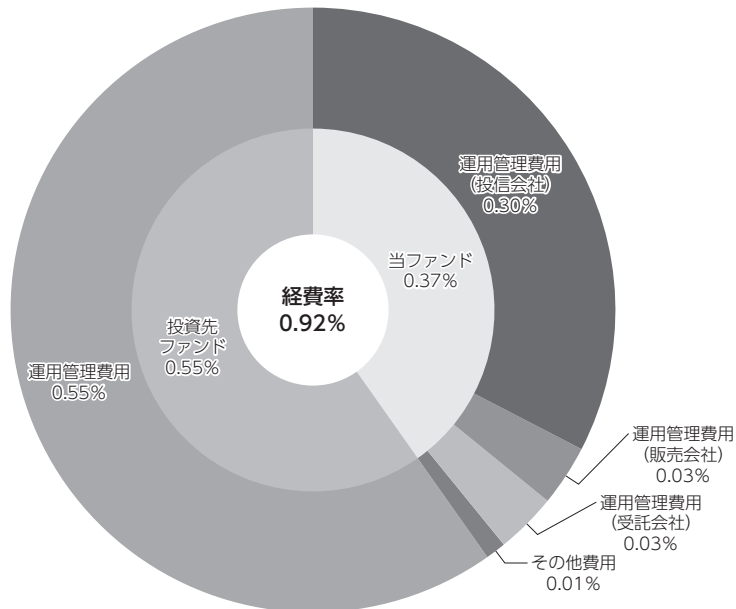
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.92%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.92
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	10,010	10,395	10,784	11,255	11,889	12,546
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.8	3.7	4.4	5.6	5.5
純資産総額 (百万円)	3,670	8,406	7,954	9,756	10,214	14,261

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

先進国債券市況

先進国の長期金利は、前期末と比較して上昇（債券価格は下落）しました。主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制姿勢を強め、急速なペースでの利上げを継続したことから先進国の金利水準は上昇しました。2023年3月以降、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国の長期金利が低下する場面もみられました。その後は、主要国中央銀行（日本除く）が政策金利を高い水準で維持するとの見方が強まり、金利は反転上昇しました。

新興国債券市況

新興国の金利は、前期末と比較して低下（債券価格は上昇）しました。期初は、主要先進国（日本除く）における急速な金利上昇につれて動き、新興国地域の金利は上昇しました。その後は、東南アジアや中南米諸国などを中心にインフレ率の上昇鈍化を受けて、利上げ打ち止めの動きもみられたことなどから、新興国地域の金利は徐々に水準を切り下げました。中国では、不動産市場の悪化懸念が依然として残るなか、景気下支えなどを目的として緩和的な金融政策が維持されました。一方、南アフリカでは、インフレ率の高止まりへの警戒感から中央銀行の金融引き締め姿勢は維持されました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル=151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すF R B（米連邦準備制度理事会）による大幅かつ急速に利上げが進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対しては、E C B（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ=159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国では、インフレ率に対して高利回りの政策金利が維持されたことから円・米ドルの双方に対して通貨高が進行しました。一方、中国では緩和的な金融政策が維持され、円・米ドルの双方に対して元安が進行しました。トルコでは、金融政策の先行き不透明感が払拭されず、円・米ドルの双方に対して通貨安が大幅に進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。あわせて新興国債券へも投資を行い付加価値獲得を目指しました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中は指定投資信託証券の入替は行いませんでした。

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
三菱UFJ国際海外債券オープン(適格機関投資家限定)	24.8%	14.9%	2.4%
ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)	14.0%	19.9%	4.1%
グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	18.6%	15.2%	4.3%
ブランディワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	13.5%	21.4%	3.9%
Amundi Funds パイオニア・US・コーポレート・ボンド(クラスI2 JPY)	8.1%	7.9%	4.8%
GIMFOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	10.3%	5.4%	8.6%
エマージング債券ファンド(為替戦略型)(FOFs用)(適格機関投資家専用)	10.1%	14.7%	25.2%
RM先進国債券マザーファンド	0.3%	0.3%	3.2%
RM新興国債券マザーファンド	0.3%	0.2%	13.0%

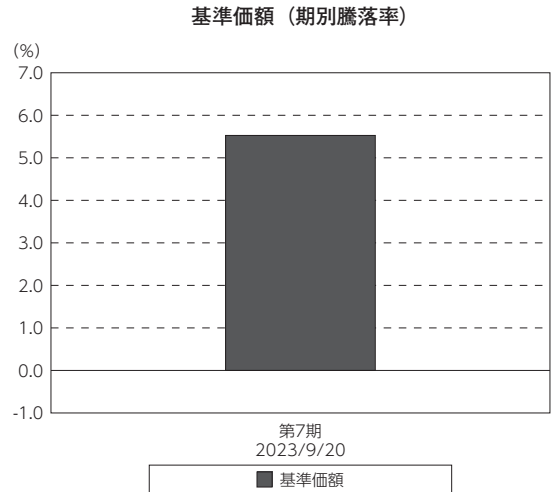
※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,873

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国債券へも投資を行い付加価値獲得を目指します。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

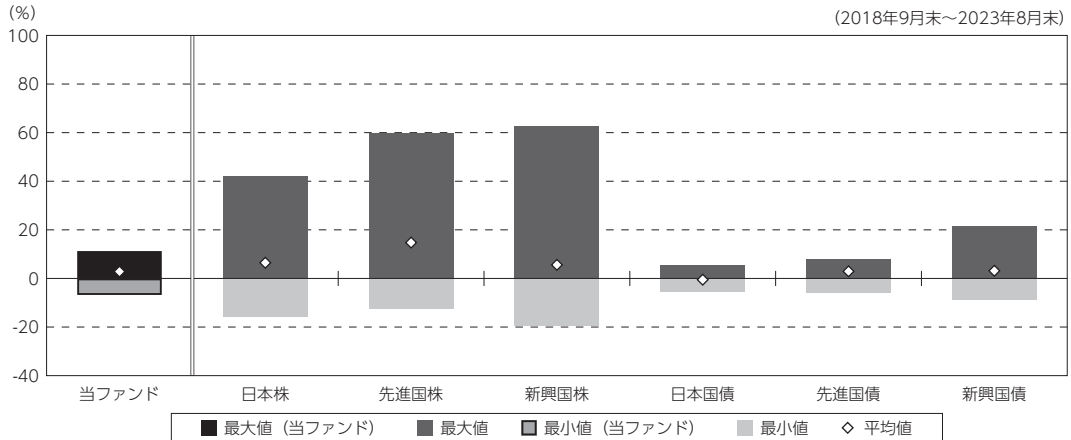
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国債券へも投資を行い付加価値獲得を目指します。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ②指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。 ③指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 ④指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 ⑤各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 6.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	2.8	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 (注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
 (注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
 (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

- 日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)
- 先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債：NOMURA-BPI 国債
- 先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

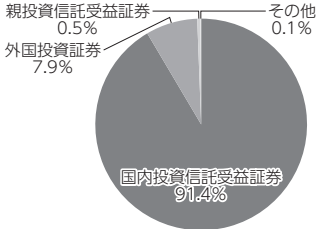
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
ブランディウィン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	21.4
ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)	19.9
グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	15.2
その他	43.4
組入銘柄数	9銘柄

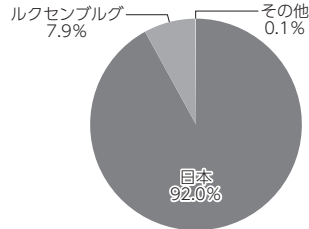
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

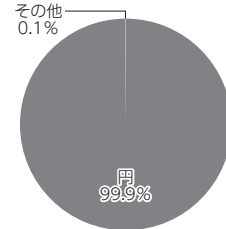
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
	2023年9月20日	
純資産総額	14,261,221,932円	
受益権総口数	11,367,472,833口	
1万口当たり基準価額	12,546円	

(注) 期中における追加設定元本額は10,225,980,973円、同解約元本額は7,450,214,875円です。

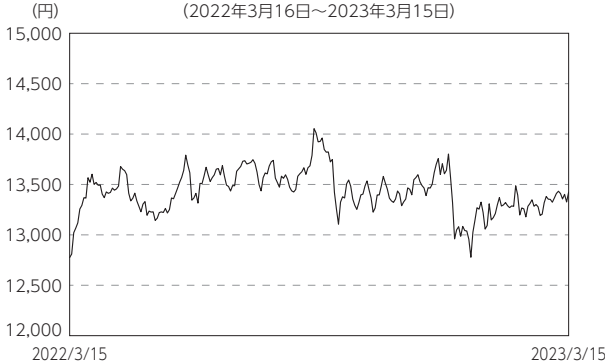
組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

ブランディワイン外国債券ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年3月16日～2023年3月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月16日～2023年3月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	56 (50) (3) (4)	0.418 (0.369) (0.022) (0.027)
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他 1) (その他 2)	7 (5) (1) (1) (0) (0)	0.055 (0.040) (0.007) (0.005) (0.002) (0.000)
合計	63	0.473

期中の平均基準価額は、13,440円です。

【組入上位ファンド】

銘柄名	比率
ブランディワイン外国債券マザーファンド	100.2%
組入銘柄数	1銘柄

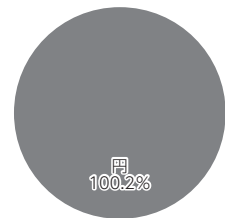
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分は、原則として発行国もしくは投資国を表示しております。

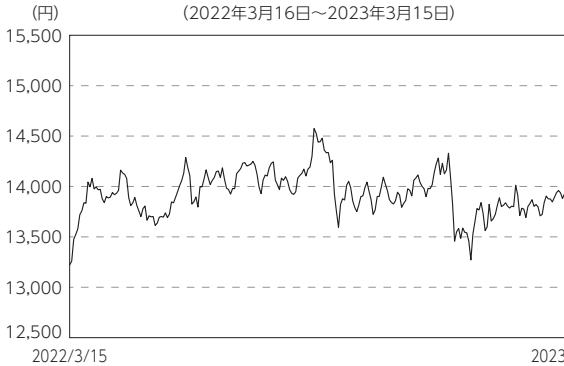
(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年3月15日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> ブランディワイン外国債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	6	0.044
(保 管 費 用)	(6)	(0.040)
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)
(そ の 他 1)	(0)	(0.002)
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)
合 計	6	0.044

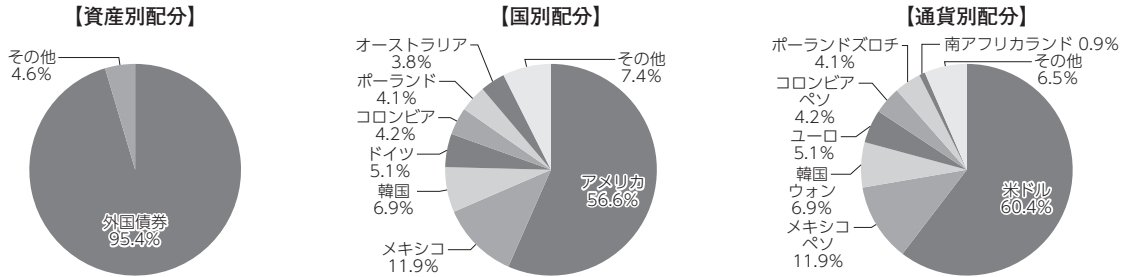
期中の平均基準価額は、13,939円です。

【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	US TREASURY FRN 4.6859987% 2024/7/31	国債証券	米ドル	アメリカ	16.8
2	US TREASURY NOTE 2.25% 2052/2/15	国債証券	米ドル	アメリカ	9.1
3	US TREASURY NOTE 1.875% 2051/11/15	国債証券	米ドル	アメリカ	5.5
4	KOREA TREASURY BOND 2% 2031/6/10	国債証券	韓国ウォン	韓国	5.2
5	BUNDES REPUBLIC DE 1.7% 2032/8/15	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.1
6	US TREASURY NOTE 3% 2052/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	4.7
7	GNMA2 #MA8348 5% 2052/10/20	特殊債券	米ドル	アメリカ	4.2
8	POLAND GOVT 1.75% 2032/4/25	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	4.1
9	COLOMBIA GOVT 9.25% 2042/5/28	国債証券	コロンビアペソ	コロンビア	2.9
10	MEXICAN BONOS DESARR FIX 8.5% 2038/11/18	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	2.8
	組入銘柄数		35銘柄		

【スワップ及び先渡取引残高】

種 類	取引契約残高
	当期末想定元本額
	百万円
直物為替先渡取引	
BARCLAYS BANK JAPAN	219
CITIBANK JAPAN	629
JPMORGAN CHASE BANK	1,395



(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国もしくは投資国を表示しております。

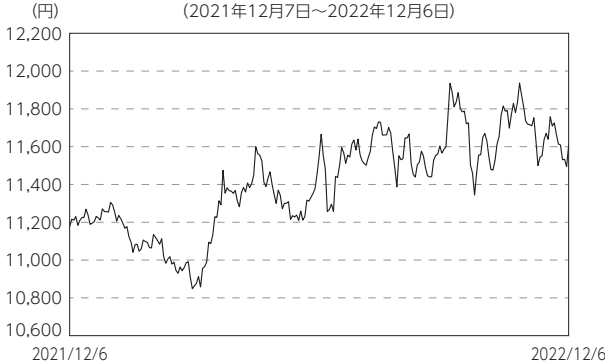
(注) 組入上位10銘柄、スワップ及び先渡取引残高、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年3月15日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年12月7日～2022年12月6日)

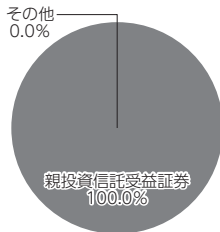
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	56 (50) (3) (3)	0.489 (0.440) (0.022) (0.027)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1)	0.011 (0.011)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.013 (0.009) (0.002) (0.002)
合 計	58	0.513

期中の平均基準価額は、11,440円です。

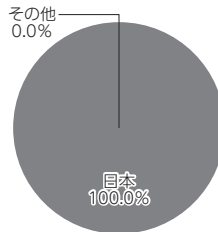
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
	%
海外アクティブ債券マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

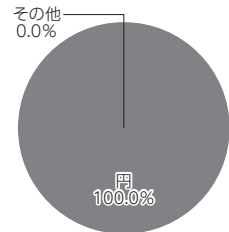
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年12月6日現在のものです。

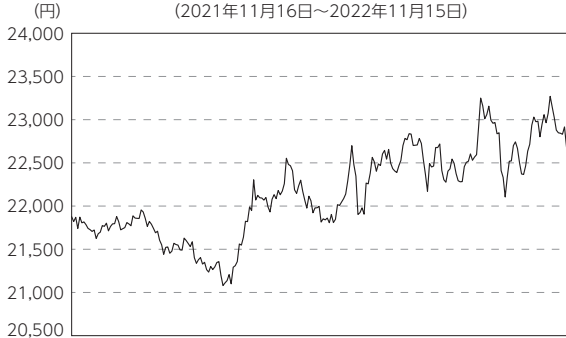
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> 海外アクティブ債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2021年11月16日～2022年11月15日)



2021/11/15

2022/11/15

【1万口当たりの費用明細】

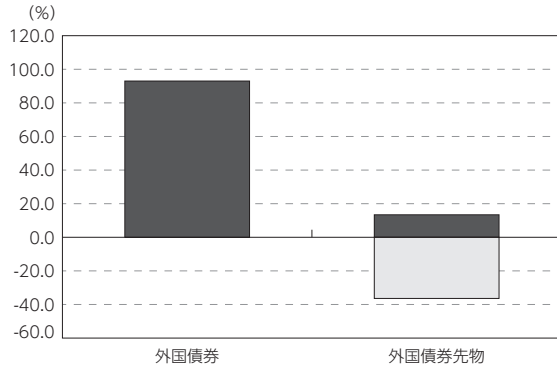
(2021年11月16日～2022年11月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	3 (3)	0.011 (0.011)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.010 (0.008) (0.002)
合 計	5	0.021
期中の平均基準価額は、22,183円です。		

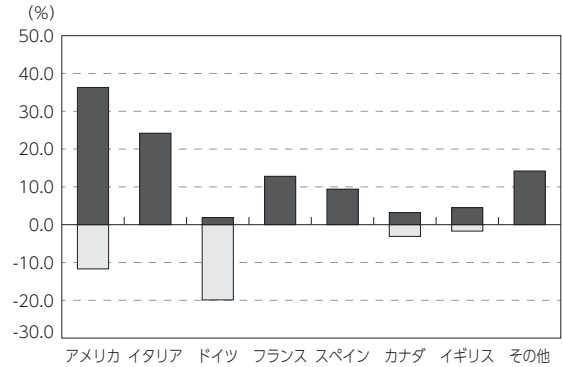
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	SCHATZ 2212	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	15.2%
2	2Y-TNOTE2212	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	10.4
3	T-ULTRA 2212	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	7.0
4	US TREASURY N/B 0.25% 2025/9/30	国債	米ドル	アメリカ	7.0
5	MEX BONOS DESARR FIX RT 6.75% 2023/3/9	国債	メキシコペソ	メキシコ	5.7
6	BUONI POLIENNALI DEL TES 0.95% 2023/3/15	国債	ユーロ	イタリア	4.9
7	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 4.4% 2023/10/31	国債	ユーロ	スペイン	4.8
8	5Y-TNOTE2212	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	4.7
9	BOBL 2212	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	3.6
10	US TREASURY N/B 2.375% 2026/4/30	国債	米ドル	アメリカ	3.4
組入銘柄数		67銘柄			

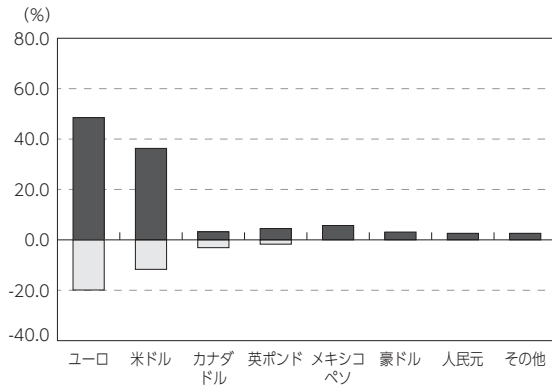
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

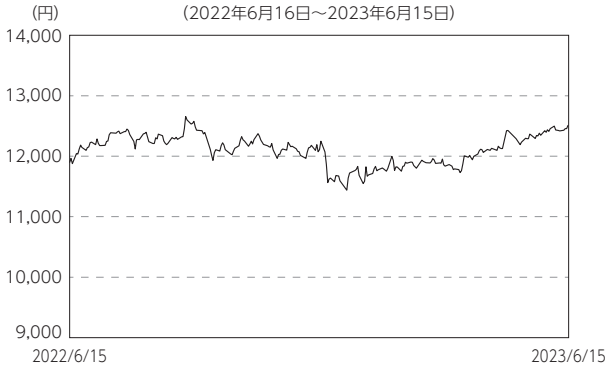
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月15日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

グローバル債券コア・ファンド[®] (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2022年6月16日～2023年6月15日)

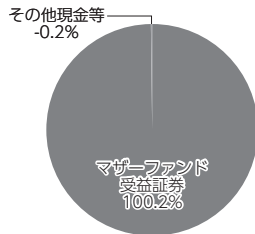
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	68 (60) (3) (5)	0.561 (0.495) (0.022) (0.044)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) (プ ラ イ ム プ ロ ー カ ー)	2 (2) (0)	0.016 (0.016) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	4 (1) (0) (3)	0.035 (0.012) (0.002) (0.021)
合 計	74	0.612

期中の平均基準価額は、12,108円です。

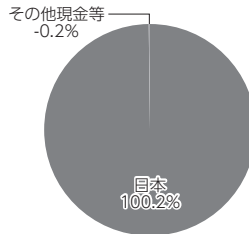
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
	%
グローバル・アグリゲート(除く日本)マザーファンド	100.2
組入銘柄数	1銘柄

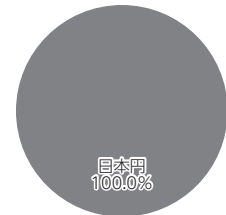
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

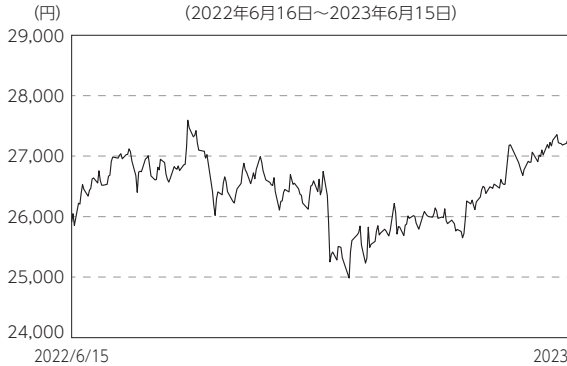


(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月15日現在のものです。
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

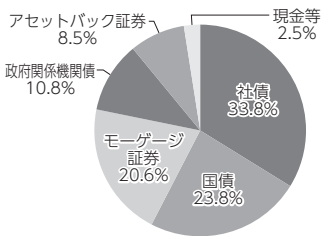
(2022年6月16日～2023年6月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	4 (4) (0)	0.015 (0.015) (0.000)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (3) (4)	0.027 (0.011) (0.015)
合 計	11	0.042
期中の平均基準価額は、26,439円です。		

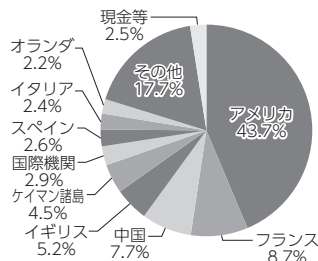
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	種 別	通 貨	比 率
				%
1	フランス国債 0% 2023年7月19日	国債	EUR	4.3
2	シダー・ファンディング 6.36029% 2031年7月17日	アセットバック証券	USD	2.5
3	中国国債 2.85% 2027年6月4日	国債	CNH	2.4
4	フレディマック 6.75% 2031年3月15日	政府関係機関債	USD	2.4
5	中国国債 3.27% 2030年11月19日	国債	CNH	1.9
6	カリフォルニア州 7.625% 2040年3月1日	政府関係機関債	USD	1.6
7	ファニーメイ 2% 2051年12月1日	モーゲージ証券	USD	1.5
8	ファニーメイ 4.5% 2052年6月1日	モーゲージ証券	USD	1.5
9	韓国国債 1.875% 2029年6月10日	国債	KRW	1.5
10	Shackleton CLO LTD 6.45043% 2034年7月20日	アセットバック証券	USD	1.3
組入銘柄数			571銘柄	

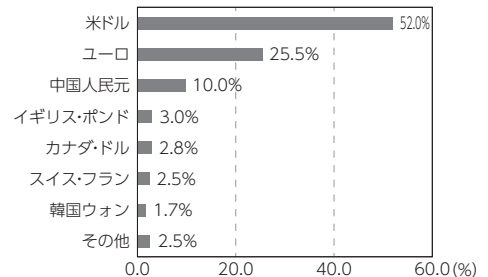
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月15日現在のものです。
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

F Wりそな先進国株式 アクティブファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	22,497円
純資産総額	32,536百万円
第7期	
騰落率	19.5%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「F Wりそな先進国株式アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。当ファンドは主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

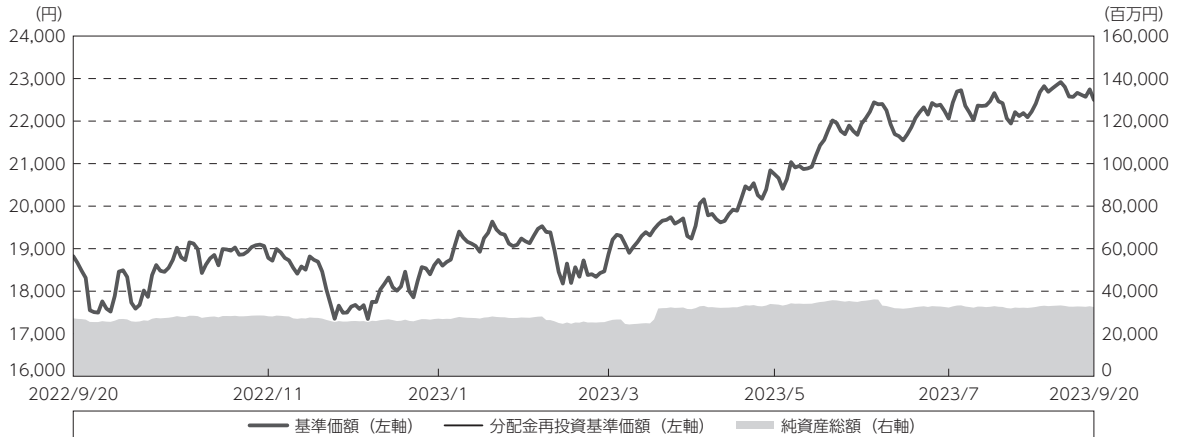
ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期首：18,825円

期末：22,497円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：19.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、主にシュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	70	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(58)	(0.297)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(6)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.007	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	71	0.364	
期中の平均基準価額は、19,695円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

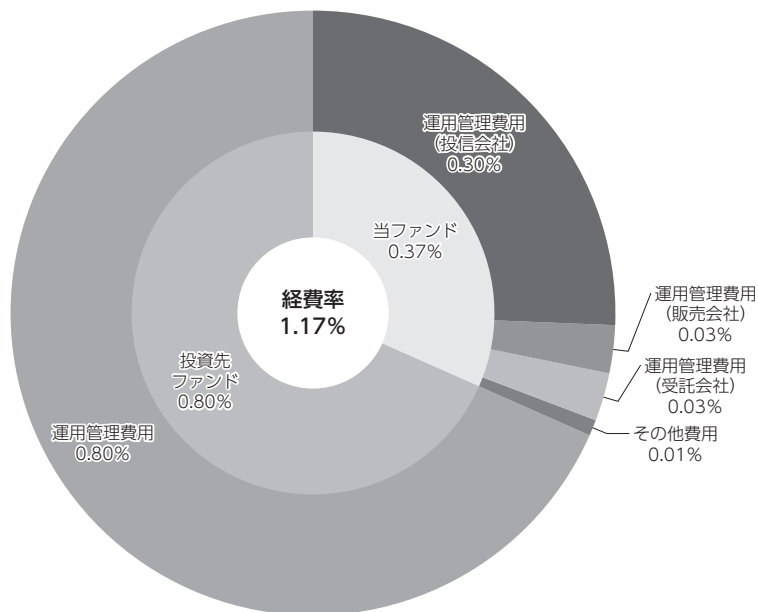
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.17%です。



(単位: %)

経費率(①+②)	1.17
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

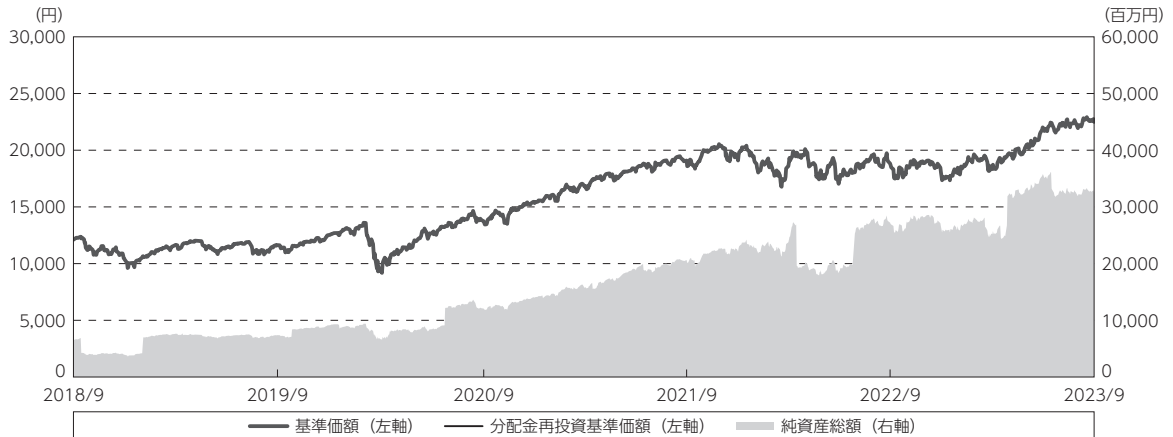
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	12,109	11,633	13,737	19,092	18,825	22,497
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.9	18.1	39.0	△ 1.4	19.5
純資産総額 (百万円)	6,510	7,382	12,060	20,633	27,217	32,536

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

先進国株式市況

先進国の株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、堅調な企業業績が支援材料となり、緩やかに上昇しました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、株式市場は下落する場面がみられました。その後、金融システム不安が小康状態入りし、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ最終局面入りが意識されたことなどから買い安心感が広がり、株式市場では上昇基調が維持されました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル=151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）による大幅かつ急速に利上げが進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ=159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中は指定投資信託証券の入替は行いませんでした。

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
シュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)	25.7%	27.6%	20.9%
インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	25.6%	20.0%	19.1%
コクサイ計量株式ファンド(適格機関投資家専用)	10.2%	7.9%	15.9%
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	9.1%	9.4%	23.9%
フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)	12.5%	14.9%	22.6%
りそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	13.5%	19.4%	22.8%
RM先進国株式マザーファンド	3.1%	0.4%	19.6%

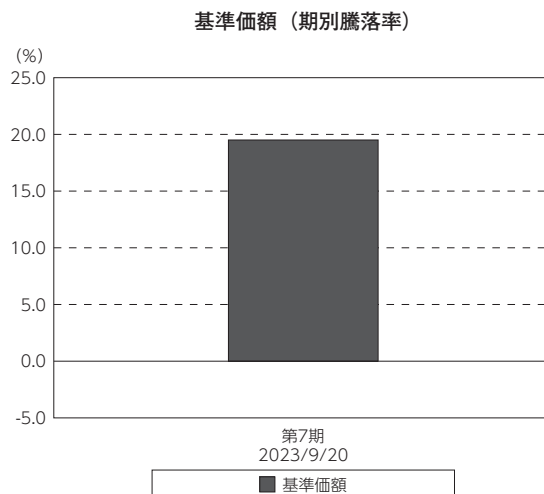
※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,497

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

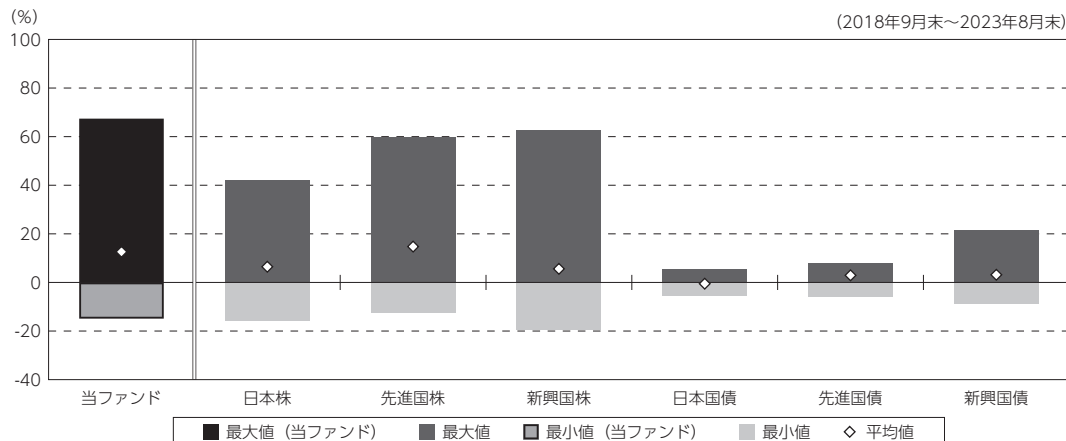
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>②指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。</p> <p>③指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。</p> <p>④指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。</p> <p>⑤各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。</p>
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	67.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 14.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	12.6	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

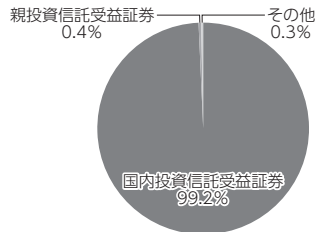
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第7期末
	%
シュローダー先進外国株式ファンド(適格機関投資家専用)	27.6
インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	20.0
リそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	19.4
その他	32.7
組入銘柄数	7銘柄

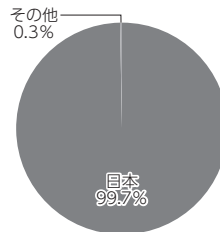
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

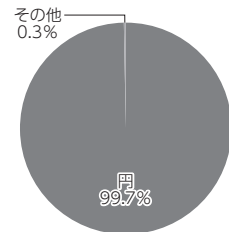
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第7期末	
	2023年9月20日	
純 資 産 総 額	32,536,365,914円	
受 益 権 総 口 数	14,462,355,286口	
1万口当たり基準価額	22,497円	

(注) 期中における追加設定元本額は6,116,258,573円、同解約元本額は6,112,412,180円です。

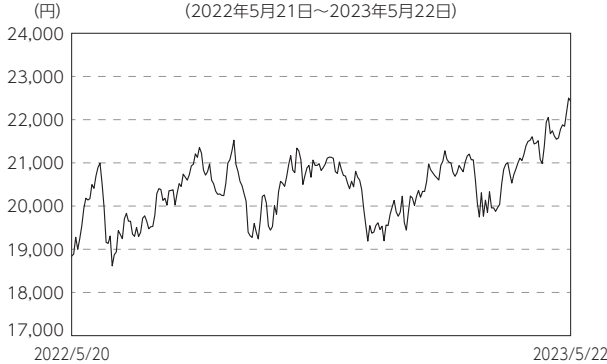
組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年5月21日～2023年5月22日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月21日～2023年5月22日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	181 (169) (5) (7)	0.885 (0.830) (0.022) (0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.017 (0.017) (0.000)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	10 (7) (3) (0) (0)	0.049 (0.033) (0.014) (0.002) (0.000)
合 計	197	0.961

期中の平均基準価額は、20,411円です。

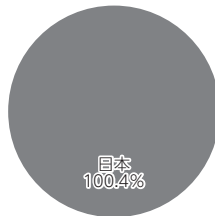
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
シュローダー外国株式マザーファンド	100.4 %
組入銘柄数	1銘柄

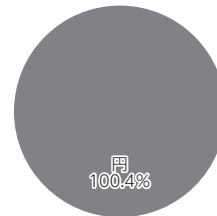
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

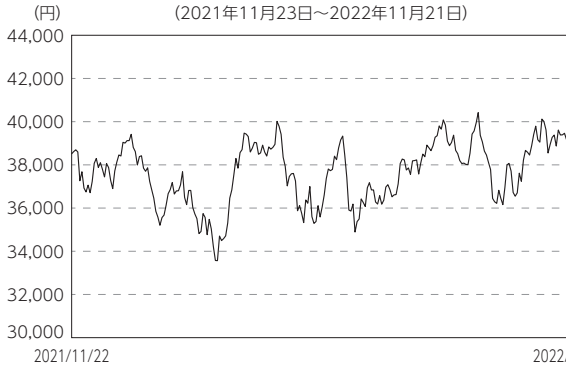


(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年5月22日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ シュロージャー外国株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

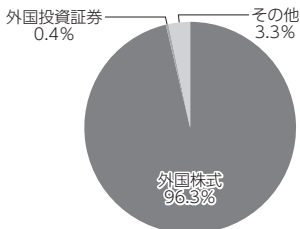
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.030 (0.030)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	14 (14) (0)	0.038 (0.038) (0.000)
合 計	29	0.079

期中の平均基準価額は、37,756円です。

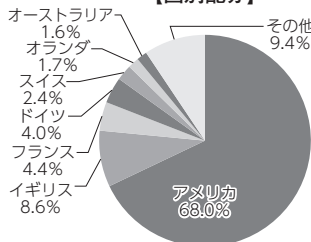
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.7%
2	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.6%
3	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	2.9%
4	AMAZON.COM INC	小売	米ドル	アメリカ	2.1%
5	SHELL PLC	エネルギー	ユーロ	イギリス	1.8%
6	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	1.7%
7	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	1.7%
8	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.7%
9	CONOCOPHILLIPS	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.6%
10	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	1.6%
	組入銘柄数		145銘柄		

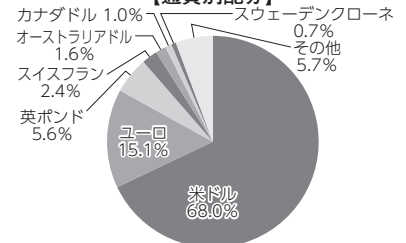
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国 (地域)、国別配分につきましては発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。

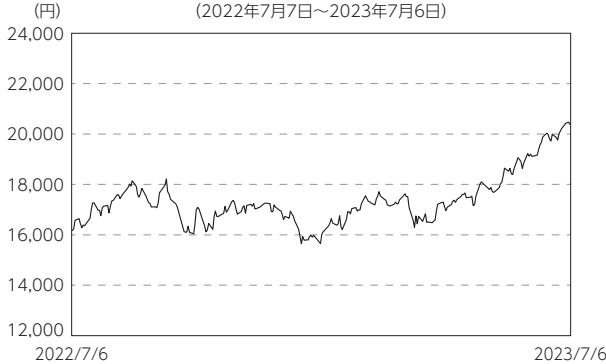
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月21日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

インターナショナル株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月7日～2023年7月6日)

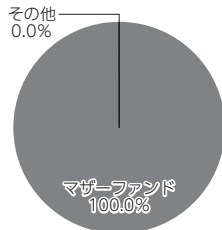
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	167 (162) (1) (4)	0.962 (0.935) (0.005) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	9 (9) (0)	0.052 (0.051) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	6 (6) (0)	0.036 (0.036) (0.000)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	15 (8) (2) (5)	0.089 (0.048) (0.011) (0.030)
合 計	198	1.138

期中の平均基準価額は、17,374円です。

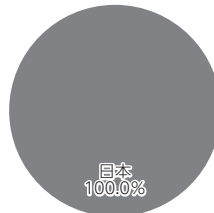
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
インターナショナル株式マザーファンド	100.0 %
コールローン等、その他	0.0

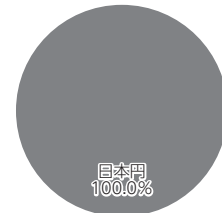
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

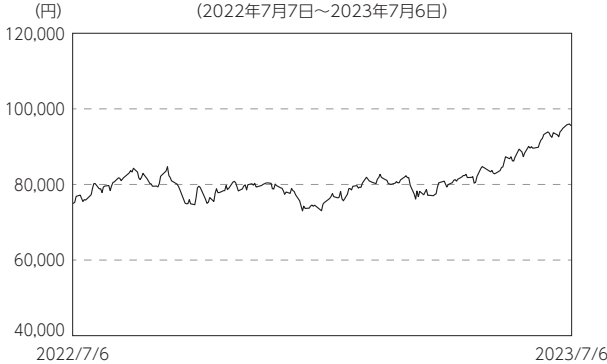


(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年7月6日現在のものです。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> インターナショナル株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月7日～2023年7月6日)

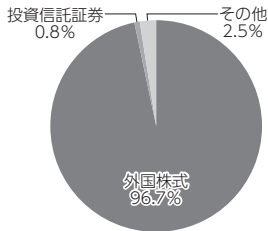
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	41 (41) (0)	0.051 (0.051) (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	28 (28) (0)	0.035 (0.034) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	62 (39) (23)	0.076 (0.048) (0.028)
合 計	131	0.162

期中の平均基準価額は、81,059円です。

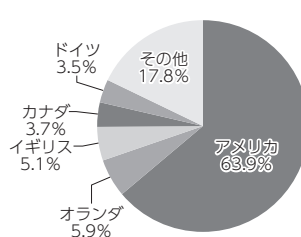
【組入上位10銘柄】

銘 柄 名	国 名	業 種 名	比 率
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.8%
2 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	4.8%
3 ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.4%
4 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1%
5 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融サービス	3.3%
6 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.2%
7 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.9%
8 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	2.3%
9 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	半導体・半導体製造装置	2.1%
10 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	消費者サービス	2.1%
組入銘柄数		71銘柄	

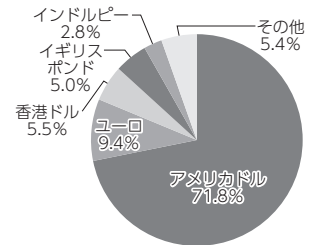
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年7月6日現在のものです。

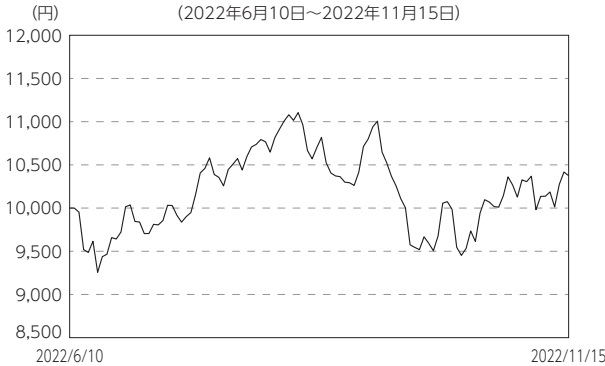
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

りそな先進国厳選株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

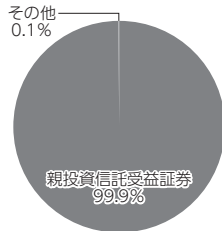
(2022年6月10日～2022年11月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	26 (24) (0) (1)	0.259 (0.240) (0.005) (0.014)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	15 (15)	0.149 (0.149)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.040 (0.040)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.012 (0.009) (0.003) (0.000)
合 計	46	0.460
期中の平均基準価額は、10,127円です。		

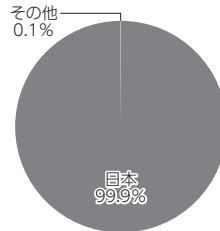
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
RM先進国厳選株式マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

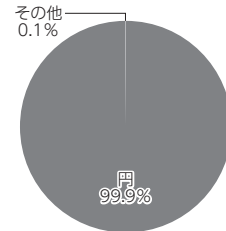
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

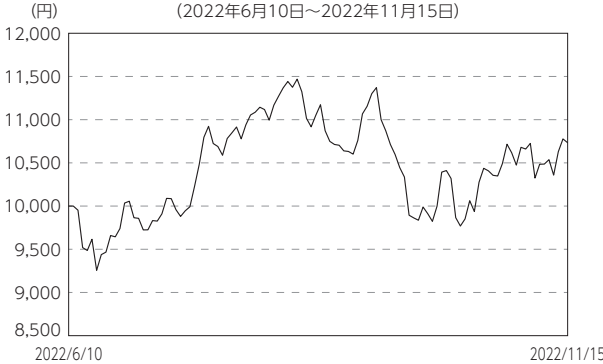
(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月15日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> R M先進国厳選株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月10日～2022年11月15日)

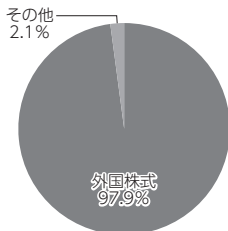
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	16 (16)	0.150 (0.150)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.041 (0.041)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.009 (0.009) (0.000)
合 計	21	0.200

期中の平均基準価額は、10,402円です。

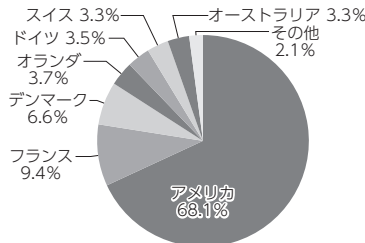
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	ASML HOLDING NV	半導体・半導体製造装置	ユーロ	オランダ	3.7%
2	ALIGN TECHNOLOGY INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.5%
3	DASSAULT SYSTEMES SE	ソフトウェア・サービス	ユーロ	フランス	3.5%
4	RATIONAL AG	資本財	ユーロ	ドイツ	3.5%
5	ANSYS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5%
6	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.5%
7	ADOBE INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5%
8	NIKE INC -CL B	耐久消費財・アパレル	米ドル	アメリカ	3.4%
9	ECOLAB INC	素材	米ドル	アメリカ	3.4%
10	L'OREAL	家庭用品・パーソナル用品	ユーロ	フランス	3.4%
	組入銘柄数		30銘柄		

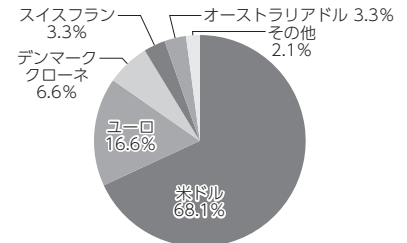
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国 (地域)、国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月15日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

F Wりそな先進国＋新興国株式 アクティブファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	21,266円
純資産総額	37,955百万円
第7期	
騰落率	16.7%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「F Wりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。あわせて新興国株式へも投資を行い付加価値獲得を目指しました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

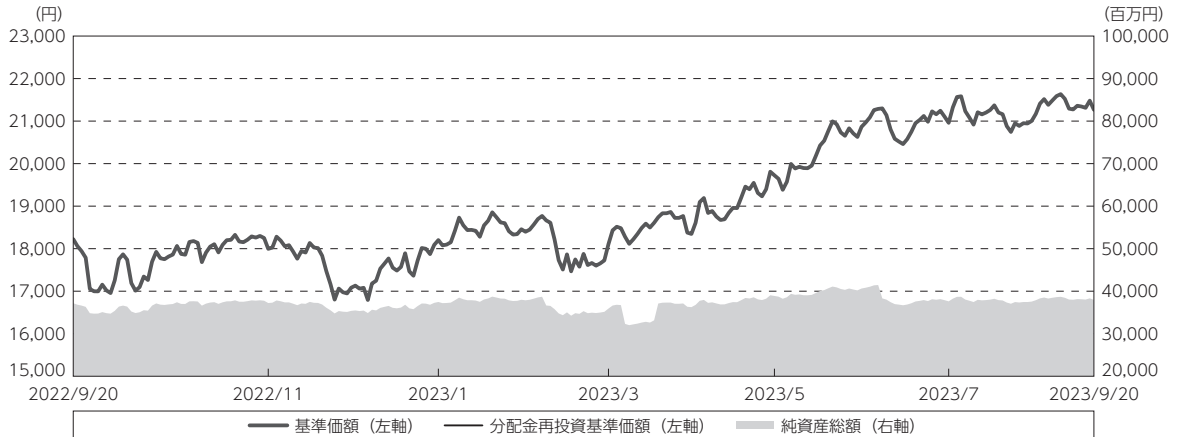
ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期 首：18,225円

期 末：21,266円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：16.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、先進国株式ファンドでは主にシュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。新興国株式ファンドでは主にシュローダー・グローバル・エマージング株式ファンド(適格機関投資家専用)の上昇が当ファンドの値上がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	67	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(56)	(0.297)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(6)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	69	0.366	
期中の平均基準価額は、18,843円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

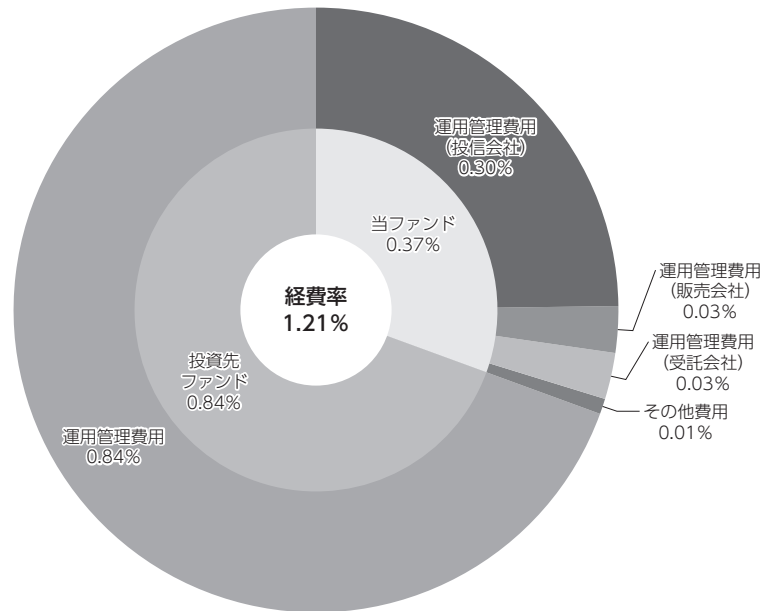
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.21%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.21
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

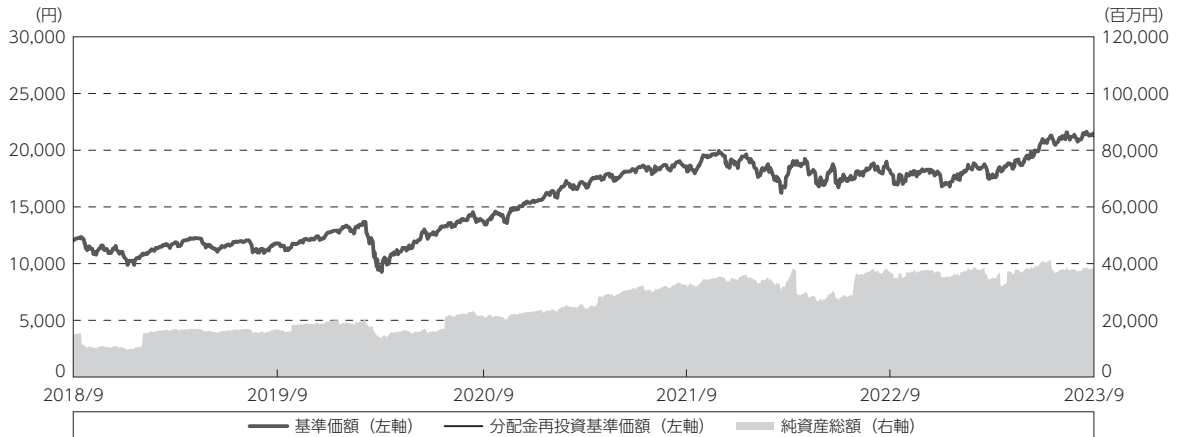
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	12,020	11,793	13,741	18,582	18,225	21,266
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.9	16.5	35.2	△ 1.9	16.7
純資産総額 (百万円)	14,951	16,766	21,491	32,627	37,165	37,955

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

先進国株式市況

先進国の株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、堅調な企業業績が支援材料となり、緩やかに上昇しました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、株式市場は下落する場面がみられました。その後、金融システム不安が小康状態入りし、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ最終局面入りが意識されたことなどから買い安心感が広がり、株式市場では上昇基調が維持されました。

新興国株式市況

新興国の株式市場は、前期末と比較して上昇しました。中国では、期初に共産党大会で習近平氏が3期目の総書記に選出されたことから政治リスクへの警戒感が高まり、売り圧力が強まりました。ゼロコロナ政策緩和を支援材料に反発する場面もみられましたが、期末にかけて、中国景気の停滞感を背景に上値の重い展開となりました。台湾や韓国では、半導体関連銘柄の占める割合が多いことから、期後半にかけてAI（人工知能）をテーマに上昇しました。一方で、サウジアラビアなど産油国は原油市場の軟調な動きを背景に下落しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）による大幅かつ急速に利上げが進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ＝159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国では、インフレ率に対して高利回りの政策金利が維持されたことから円・米ドルの双方に対して通貨高が進行しました。一方、中国では緩和的な金融政策が維持され、円・米ドルの双方に対して元安が進行しました。トルコでは、金融政策の先行き不透明感が払拭されず、円・米ドルの双方に対して通貨安が大幅に進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。あわせて新興国株式へも投資を行い付加価値獲得を目指しました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中は指定投資信託証券の入替は行いませんでした。

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
シュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)	20.8%	21.6%	20.9%
インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	20.3%	16.1%	19.1%
コクサイ計量株式ファンド(適格機関投資家専用)	8.3%	6.4%	15.9%
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	7.8%	7.7%	23.9%
フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)	10.2%	11.7%	22.6%
りそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	11.1%	15.4%	22.8%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	4.5%	7.7%	2.5%
シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)	7.1%	8.0%	9.0%
UBS 新興国株式厳選投資ファンド(適格機関投資家専用)	7.9%	3.9%	4.2%
RM先進国株式マザーファンド	0.9%	0.9%	19.6%
RM新興国株式マザーファンド	0.8%	0.4%	9.3%

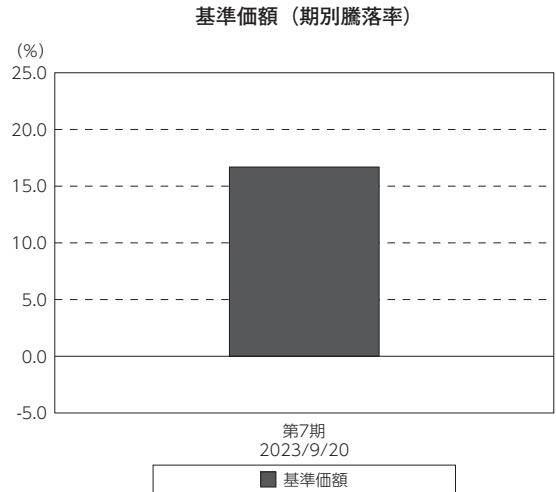
※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,265

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国株式へも投資を行い付加価値獲得を目指します。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、りそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

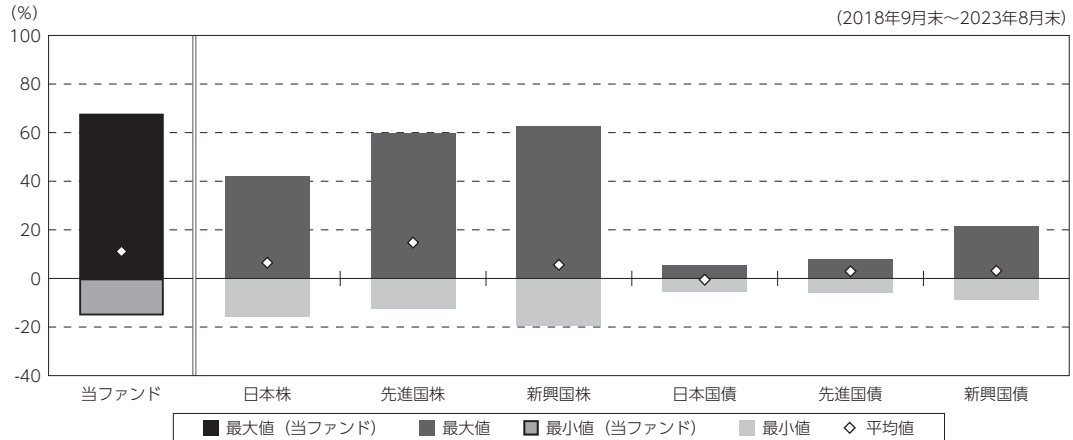
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国株式へも投資を行い付加価値獲得を目指します。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ②指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。 ③指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 ④指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 ⑤各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	67.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 15.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	11.1	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

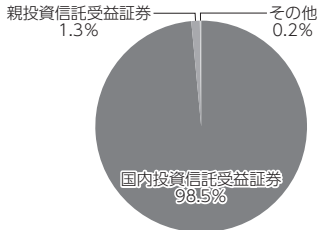
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
シュローダー先進外国株式ファンド(適格機関投資家専用)	21.6
インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	16.1
リそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	15.4
その他	46.8
組入銘柄数	11銘柄

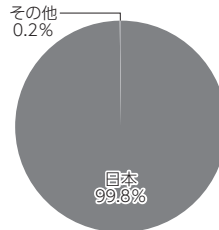
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

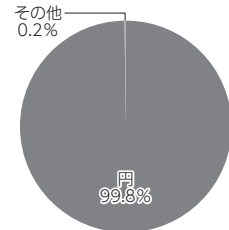
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
	2023年9月20日	
純資産総額	37,955,696,049円	
受益権総口数	17,848,221,750口	
1万口当たり基準価額	21,266円	

(注) 期中における追加設定元本額は4,920,277,839円、同解約元本額は7,464,419,351円です。

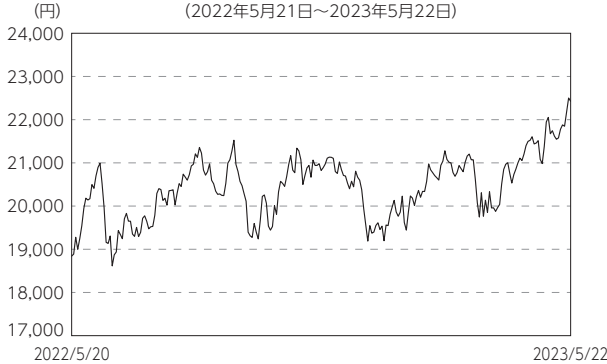
組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

シュローダー先進国外国株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年5月21日～2023年5月22日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月21日～2023年5月22日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	181 (169) (5) (7)	0.885 (0.830) (0.022) (0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.017 (0.017) (0.000)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	10 (7) (3) (0) (0)	0.049 (0.033) (0.014) (0.002) (0.000)
合 計	197	0.961

期中の平均基準価額は、20,411円です。

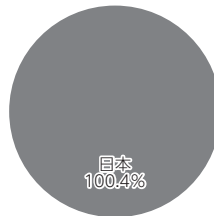
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
シュローダー外国株式マザーファンド	100.4 %
組入銘柄数	1銘柄

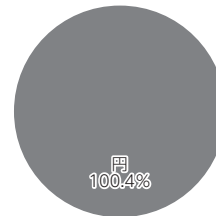
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

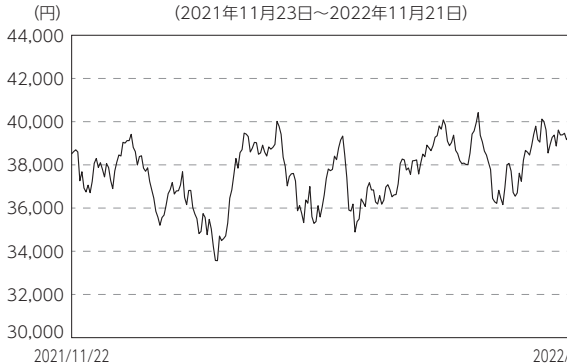


(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年5月22日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ シュロージャー外国株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

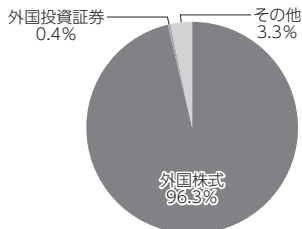
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.011
(株 式)	(4)	(0.011)
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税	11	0.030
(株 式)	(11)	(0.030)
(c) そ の 他 費 用	14	0.038
(保 管 費 用)	(14)	(0.038)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	29	0.079

期中の平均基準価額は、37,756円です。

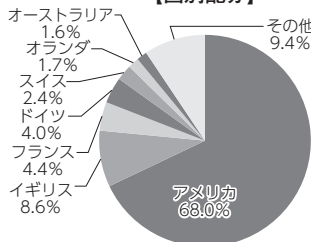
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.7%
2	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.6%
3	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	2.9%
4	AMAZON.COM INC	小売	米ドル	アメリカ	2.1%
5	SHELL PLC	エネルギー	ユーロ	イギリス	1.8%
6	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	1.7%
7	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	1.7%
8	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.7%
9	CONOCOPHILLIPS	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.6%
10	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	1.6%
	組入銘柄数		145銘柄		

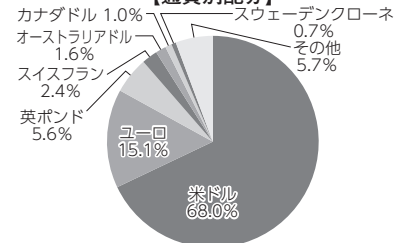
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国 (地域)、国別配分につきましては発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。

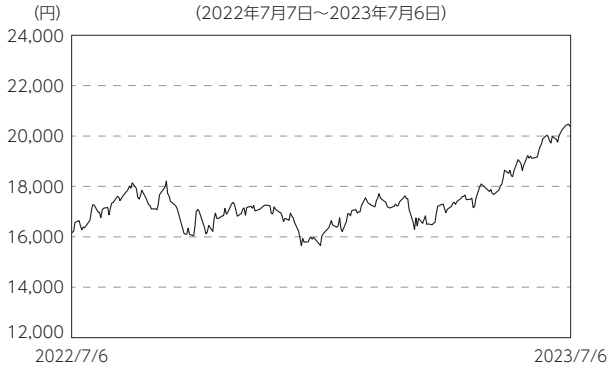
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月21日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

インターナショナル株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月7日~2023年7月6日)

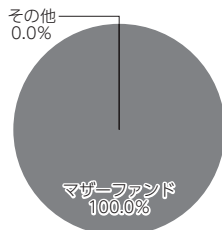
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	167 (162) (1) (4)	0.962 (0.935) (0.005) (0.022)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	9 (9) (0)	0.052 (0.051) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	6 (6) (0)	0.036 (0.036) (0.000)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	15 (8) (2) (5)	0.089 (0.048) (0.011) (0.030)
合 計	198	1.138

期中の平均基準価額は、17,374円です。

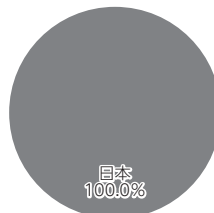
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
インターナショナル株式マザーファンド	100.0 %
コールローン等、その他	0.0

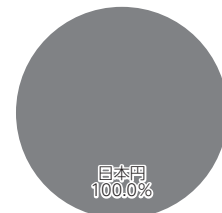
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

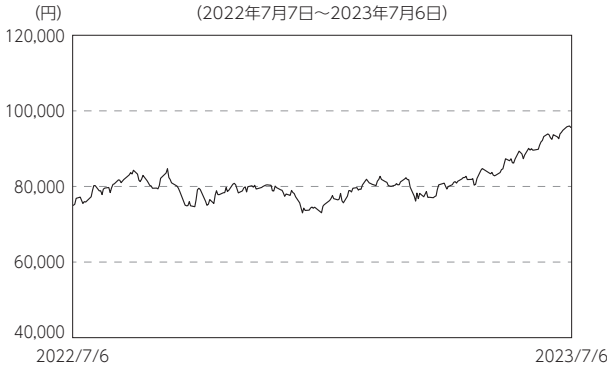


(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年7月6日現在のものです。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> インターナショナル株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月7日～2023年7月6日)

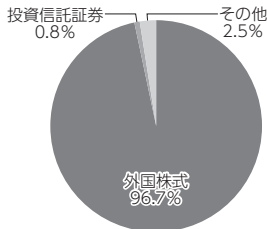
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	41 (41) (0)	0.051 (0.051) (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	28 (28) (0)	0.035 (0.034) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	62 (39) (23)	0.076 (0.048) (0.028)
合 計	131	0.162

期中の平均基準価額は、81,059円です。

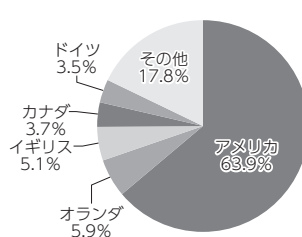
【組入上位10銘柄】

銘 柄 名	国 名	業 種 名	比 率
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.8%
2 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	4.8%
3 ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.4%
4 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1%
5 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融サービス	3.3%
6 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.2%
7 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.9%
8 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	2.3%
9 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	半導体・半導体製造装置	2.1%
10 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	消費者サービス	2.1%
組入銘柄数		71銘柄	

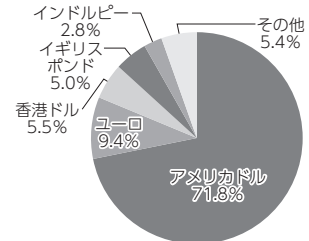
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年7月6日現在のものです。

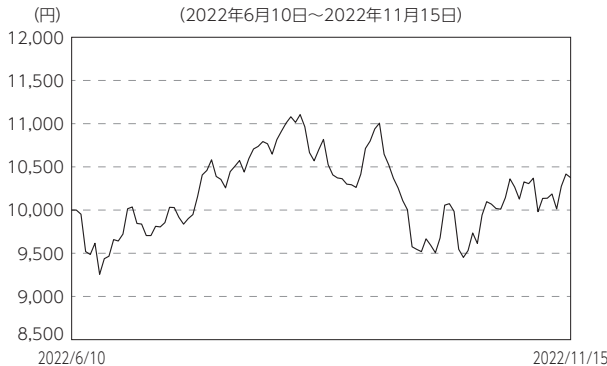
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

りそな先進国厳選株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月10日～2022年11月15日)

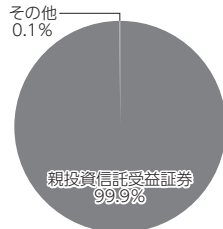
項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	26 (24) (0) (1)	0.259 (0.240) (0.005) (0.014)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	15 (15)	0.149 (0.149)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.040 (0.040)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.012 (0.009) (0.003) (0.000)
合 計	46	0.460

期中の平均基準価額は、10,127円です。

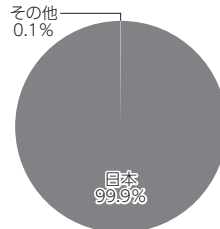
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
RM先進国厳選株式マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

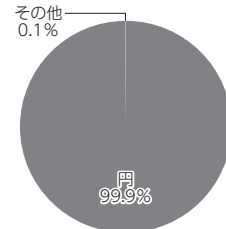
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

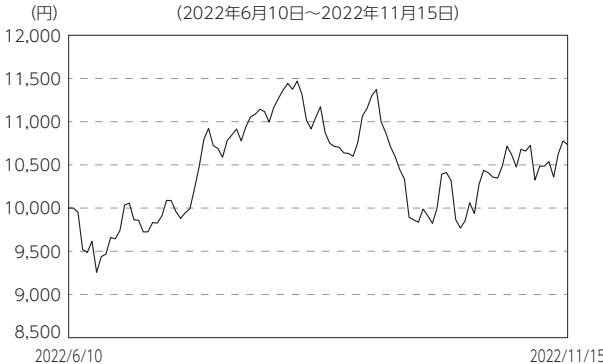


(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月15日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> R M先進国厳選株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月10日～2022年11月15日)

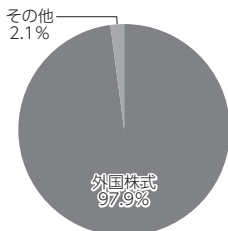
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	16 (16)	0.150 (0.150)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.041 (0.041)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.009 (0.009) (0.000)
合 計	21	0.200

期中の平均基準価額は、10,402円です。

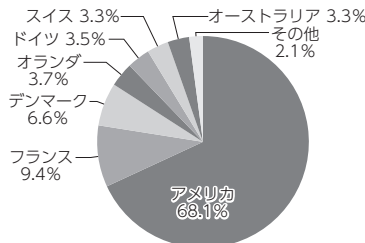
【組入上位10銘柄】

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	ASML HOLDING NV	半導体・半導体製造装置	ユーロ	オランダ	3.7%
2	ALIGN TECHNOLOGY INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.5%
3	DASSAULT SYSTEMES SE	ソフトウェア・サービス	ユーロ	フランス	3.5%
4	RATIONAL AG	資本財	ユーロ	ドイツ	3.5%
5	ANSYS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5%
6	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.5%
7	ADOBE INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5%
8	NIKE INC -CL B	耐久消費財・アパレル	米ドル	アメリカ	3.4%
9	ECOLAB INC	素材	米ドル	アメリカ	3.4%
10	L'OREAL	家庭用品・パーソナル用品	ユーロ	フランス	3.4%
	組入銘柄数		30銘柄		

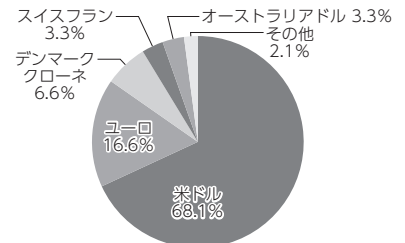
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国 (地域)、国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年11月15日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

FWりそな絶対収益 アクティブファンド

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	9,163円
純資産総額	13,064百万円
第7期	
騰落率	△ 1.2%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「FWりそな絶対収益アクティブファンド」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは主として絶対収益を追求する複数の指定投資信託証券へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期 首：9,270円

期 末：9,163円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 1.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資した指定投資信託証券のうち、主に世界株式トレンドフォローLS戦略(FOFs用/適格機関投資家専用)の下落が当ファンドの値下がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	33	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.297)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	34	0.363	
期中の平均基準価額は、9,195円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

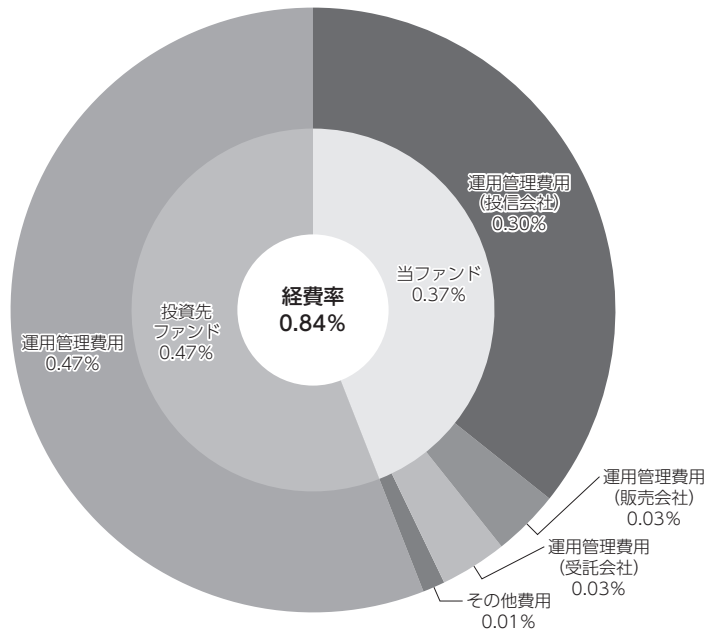
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.84%です。



(単位:%)

経費率 (①+②)	0.84
①当ファンドの費用の比率	0.37
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.47

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

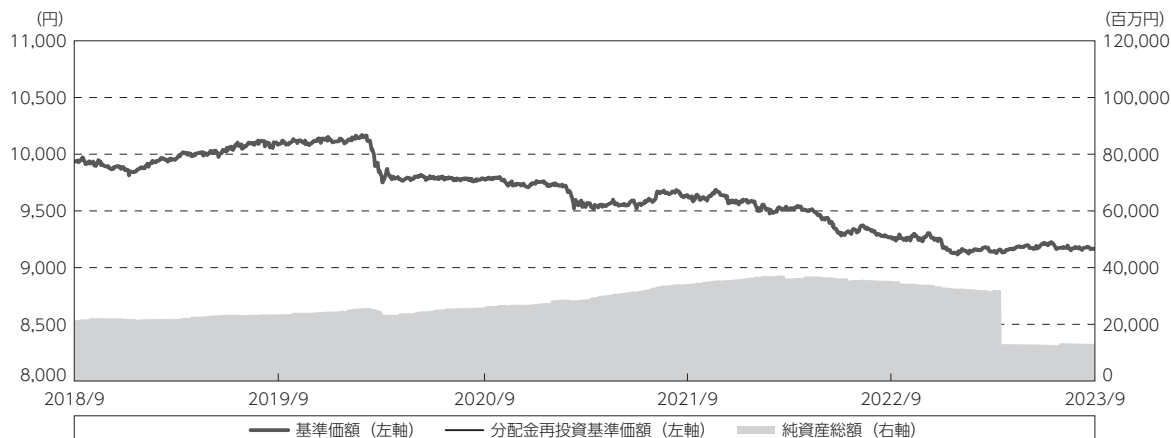
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	9,939	10,085	9,784	9,641	9,270	9,163
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.5	△ 3.0	△ 1.5	△ 3.8	△ 1.2
純資産総額 (百万円)	21,365	23,470	26,025	34,228	35,327	13,064

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

国内株式市況

国内の株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、国内経済の正常化進展への期待や円安進行などが支援材料となり緩やかに上昇しました。期後半は、米欧を中心とする金融システム不安に対する警戒感から相場が不安定化する場面もみられましたが、国内企業の資本効率改善への期待感や他国対比で緩和的な金融環境が続いたことなどが相場の下支えとなり、国内株式市場は上昇しました。東証株価指数（TOPIX）や日経平均株価（日経225）は1990年以来の高値まで上昇する場面もみられました。

先進国株式市況

先進国の株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、堅調な企業業績が支援材料となり、緩やかに上昇しました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、株式市場は下落する場面がみられました。その後、金融システム不安が小康状態入りし、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ最終局面入りが意識されたことなどから買い安心感が広がり、株式市場では上昇基調が維持されました。

国内債券市況

国内の長期金利は、前期末と比較して上昇（債券価格は下落）しました。期初は、日銀による金融緩和策継続を受けて10年国債利回りは0.25%近辺で横ばいの推移となりました。2022年12月には、日銀が長期金利の変動許容幅を±0.5%へ拡大し、10年国債利回りは0.5%近辺まで急上昇しました。その後、米国の一部の中堅銀行の破綻などを契機に国内の長期金利は大きく変動する場面もみられましたが、2023年7月の金融政策決定会合では、運営の柔軟性確保を目的にイールドカーブ・コントロール政策（長短金利操作）が一部修正され、10年国債利回りは0.7%台まで上昇しました。

先進国債券市況

先進国の長期金利は、前期末と比較して上昇（債券価格は下落）しました。主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制姿勢を強め、急速なペースでの利上げを継続したことから先進国の金利水準は上昇しました。2023年3月以降、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに、米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国の長期金利が低下する場面もみられました。その後は、主要国中央銀行（日本除く）が政策金利を高い水準で維持するとの見方が強まり、金利は反転上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル=151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すF R B（米連邦準備制度理事会）による大幅かつ急速に利上げが進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対しては、E C B（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ=159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドは、主として絶対収益を追求する複数の指定投資信託証券へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、各指定投資信託証券の投資比率を調整しました。なお、指定投資信託証券の投資比率の合計は、期を通じて高位に維持しました。

○指定投資信託証券の入替

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券および投資比率の決定を行いました。なお、期中に以下の指定投資信託証券の入替を行いました。

〈追加〉

リそな国内株式マーケットニュートラル（FOF s用）（適格機関投資家専用）

〈削除〉

国内高配当株ベータヘッジ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

○各指定投資信託証券の期末における投資比率および期中における騰落率

指定投資信託証券	投資比率		期中の騰落率
	(前期末)	(当期末)	
ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家専用)	27.6%	25.4%	-2.8%
国内高配当株ベータヘッジ(FOF s 用)(適格機関投資家専用)	20.0%	-	-1.3%
FOF s 用GBCAファンドR(適格機関投資家専用)	17.5%	37.4%	5.3%
世界株式トレンドフォローLS戦略(FOFs用/適格機関投資家専用)	10.1%	9.7%	-8.1%
リそなDAAマルチアセットファンド(適格機関投資家専用)	24.4%	9.9%	-2.5%
リそな国内株式マーケットニュートラル(FOF s 用)(適格機関投資家専用)	-	17.2%	-0.5%
RMマネーマザーファンド	-	-	-

※投資比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※期中の騰落率は、当ファンドの基準価額算出時に用いる指定投資信託証券の評価値を元に計算しています。また、指定投資信託証券において分配があった場合、分配金再投資基準価額を用いて計算しています。

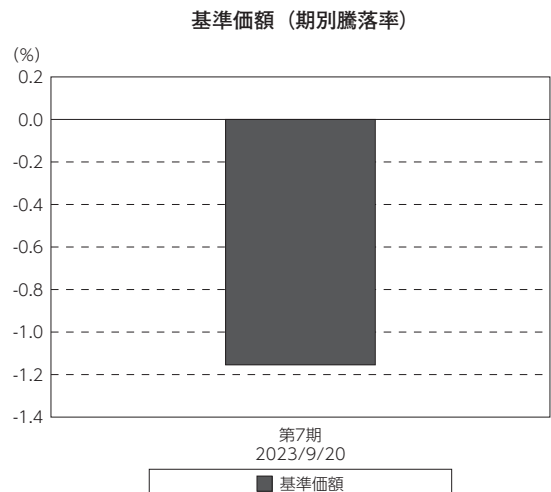
※期中に追加された指定投資信託証券については、組入時点から当期末までの騰落率です。

※期中に除外された指定投資信託証券については、前期末から最終保有日までの騰落率です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	134

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として絶対収益を追求する複数の指定投資信託証券へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当ファンドにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資信託証券の入替を決定します。

指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を決定・調整してまいります。

お知らせ

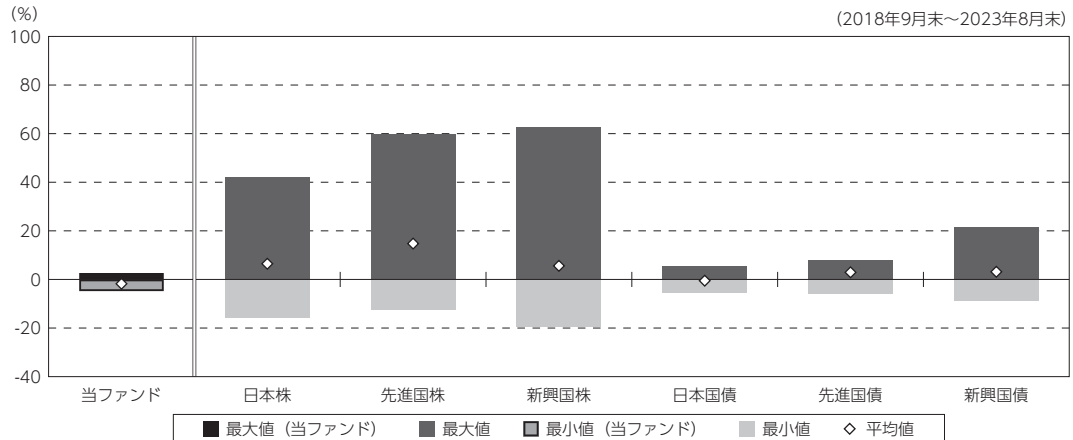
- ・投資対象とする指定投資信託証券を追加するため、約款に所要の変更を行いました。(2022年12月21日)
- ・投資対象とする指定投資信託証券を削除するため、約款に所要の変更を行いました。(2023年6月21日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2017年1月5日から無期限です。
運用方針	主として絶対収益*を追求する複数の投資信託証券（以下、各投資信託証券を「指定投資信託証券」といいます。）へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 *「絶対収益」とは、特定の市場の変動の影響を受けない投資元本に対する収益を意味します。また、必ず収益を得られるという意味ではありません。
主要投資対象	別に定める投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、指定投資信託証券によっては、絶対収益を追求するうえで投資対象となる資産から為替変動による影響を排除するため、為替ヘッジを行う場合があります。 ②指定投資信託証券の選定については、運用体制や運用哲学などの評価（定性評価）に加えて運用実績にかかる評価（定量評価）等を勘案して決定します。 ③指定投資信託証券および信託財産全体のリスク特性やパフォーマンス等を継続的にモニターし、投資比率を調整します。 ④指定投資信託証券は適宜見直しを行い、組入れている指定投資信託証券の入替を行う場合があります。 ⑤各指定投資信託証券への投資比率の合計は、原則として高位を保ちます。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	2.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 4.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 1.8	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

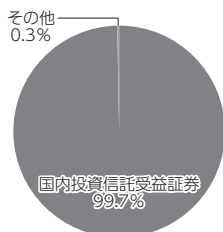
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
F O F s用G B C AファンドR (適格機関投資家専用)	37.4
ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド (適格機関投資家専用)	25.4
いそな国内株式マーケットニュートラル(F O F s用) (適格機関投資家専用)	17.2
その他	19.7
組入銘柄数	5銘柄

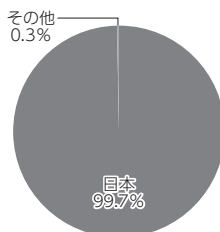
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

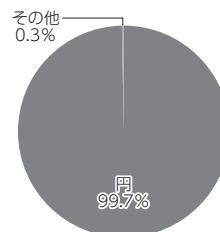
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
	2023年9月20日	
純資産総額	13,064,937,382円	
受益権総口数	14,258,845,026口	
1万口当たり基準価額	9,163円	

(注) 期中における追加設定元本額は2,643,057,145円、同解約元本額は26,492,638,351円です。

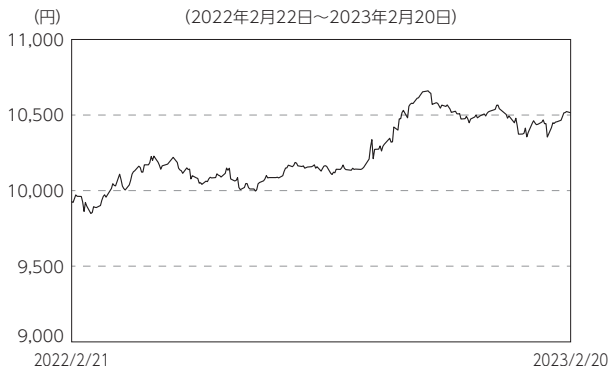
組入上位ファンドの概要

委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しています。

FOFs用GBCAファンドR（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年2月22日～2023年2月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年2月22日～2023年2月20日)

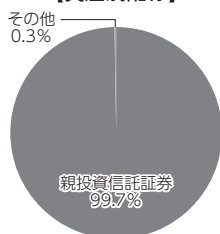
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	51 (45) (2) (3)	% 0.494 (0.439) (0.022) (0.033)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	4 (4)	0.039 (0.039)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (1) (2)	0.024 (0.006) (0.019)
合 計	58	0.557

期中の平均基準価額は、10,242円です。

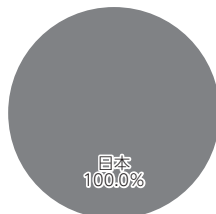
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
GBCAマザーファンド	99.7%
その他	0.3%
組入銘柄数	1銘柄

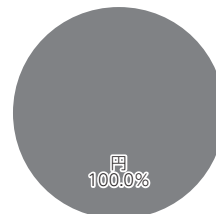
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年2月20日現在のものです。

(注) 組入上位ファンド、資産別配分、通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

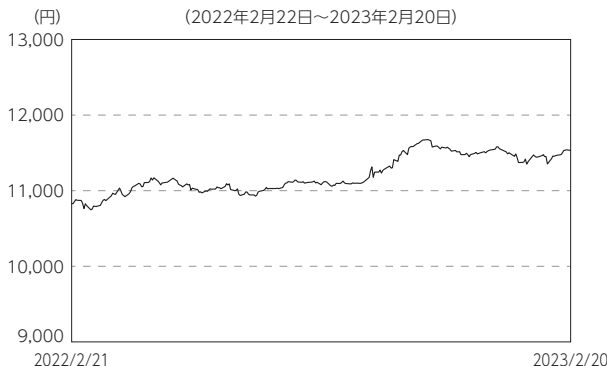
(注) 国別配分の比率は組入証券評価額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> GBCA マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年2月22日～2023年2月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年2月22日～2023年2月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	4 (4)	0.040 (0.040)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	2 (2)	0.020 (0.020)
合 計	6	0.060

期中の平均基準価額は、11,204円です。

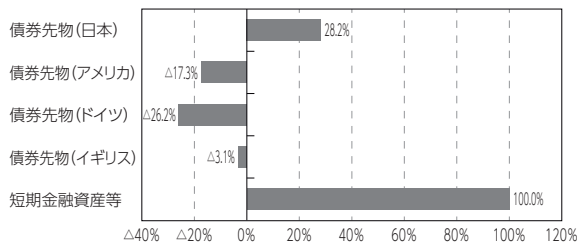
【ロング上位10銘柄】

	銘 柄 名	国 (地 域)	比率
1	長期国債標準物先物 2303	日本	28.2%
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄	

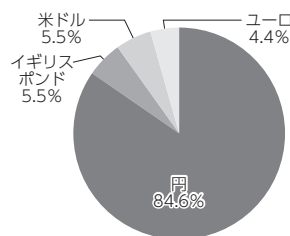
【ショート上位10銘柄】

	銘 柄 名	国 (地 域)	比率
1	EURO-BUND 2303	ドイツ	△26.2%
2	US 10YR NOTE 2303	アメリカ	△17.3%
3	LONG GILT FU 2303	イギリス	△3.1%
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		3 銘柄	

【資産・国別配分】



【通貨別配分】



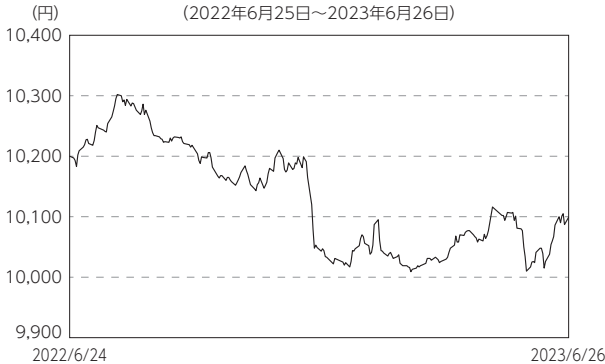
(注) ロング上位10銘柄、ショート上位10銘柄、資産・国別配分、通貨別配分は2023年2月20日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。また、オフバランス取引を行っているため、資産・国別配分の合計は100%となりません。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書(全体版)をご参照ください。

ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月25日～2023年6月26日)

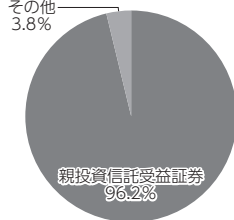
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	49 (43) (2) (4)	0.487 (0.420) (0.022) (0.044)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) (投 資 信 託 証 券)	2 (0) (2) (0)	0.019 (0.002) (0.017) (0.000)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	15 (1) (1) (13)	0.145 (0.008) (0.007) (0.130)
合 計	66	0.651

期中の平均基準価額は、10,129円です。

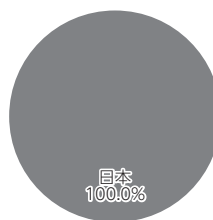
【組入上位ファンド】

銘 柄 名	比 率
ニッセイ安定収益追求マザーファンド	86.3
ニッセイクレジットキャリーマザーファンド	9.9

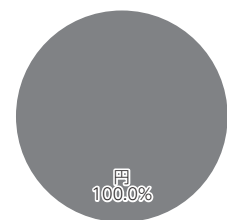
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

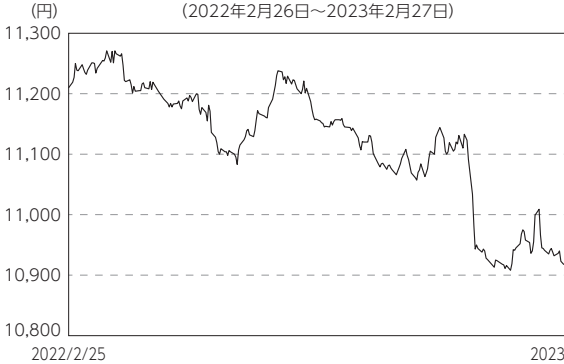


(注) 国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
 (注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年6月26日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当ファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<ご参考> ニッセイ安定収益追求マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

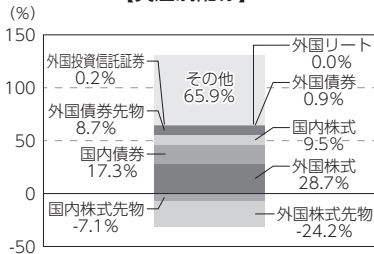
(2022年2月26日～2023年2月27日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	3 (0) (2)	0.024 (0.003) (0.021)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	19 (1) (18)	0.172 (0.009) (0.163)
合計	22	0.196
期中の平均基準価額は、11,120円です。		

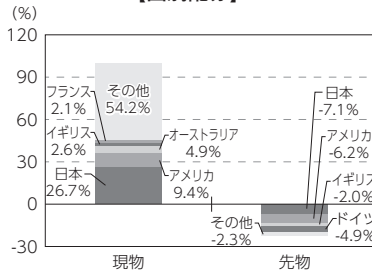
【組入上位10銘柄】

銘柄名	通貨	比率
1 第425回 利付国債(2年)	円	15.7%
2 S&P 500 EMINI FUTURE 202303 売	米ドル	8.8%
3 TOPIX 先物 0503月 売	円	7.1%
4 DJ EURO STOXX 50 202303 売	ユーロ	6.7%
5 SPI 200 FUTURE 202303 売	オーストラリア・ドル	3.9%
6 AUSTRALIA 10 YEAR BOND FUTURE 202303 買	オーストラリア・ドル	3.4%
7 FTSE 100 INDEX FUTURE 202303 売	イギリス・ポンド	3.0%
8 US 10YR T-NOTE FUTURE 202306 買	米ドル	1.9%
9 HANG SENG INDEX FUTURE 202303 売	香港ドル	1.9%
10 CANADIAN GOVERNMENT 1.25% 2030/6/1	カナダ・ドル	0.9%
組入銘柄数	633銘柄	

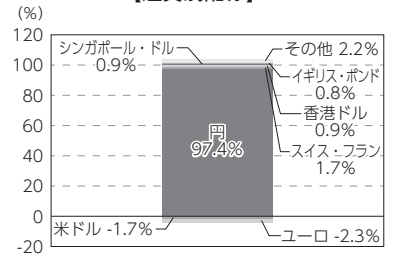
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

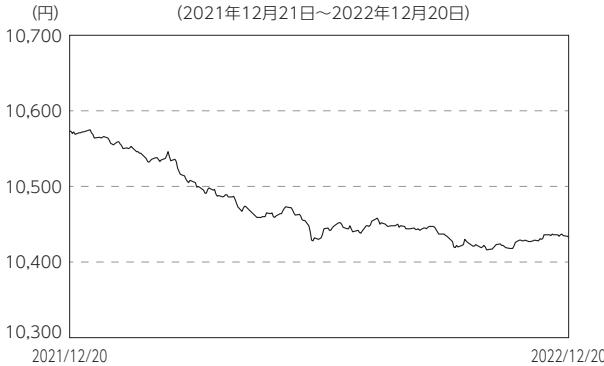


(注) 国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
 (注) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。
 (注) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2023年2月27日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ ニッセイクレジットキャリーマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年12月21日～2022年12月20日)

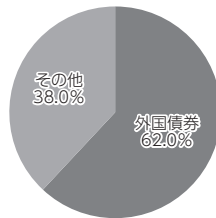
項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	1	0.009
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)
(そ の 他)	(0)	(0.001)
合 計	1	0.009

期中の平均基準価額は、10,472円です。

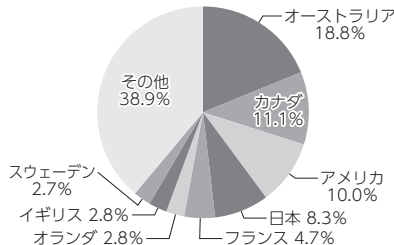
【組入上位10銘柄】

銘 柄 名	通 貨	比 率
1 BHP BILLITON FINANCE LTD 3.23% 2023/5/15	カナダ・ドル	3.0
2 MACQUARIE GROUP LTD 6.207% 2024/11/22	米ドル	2.8
3 MITSUBISHI UFJ FIN GRP 3.761% 2023/7/26	米ドル	2.7
4 NATIONAL AUSTRALIA BANK 4.65% 2025/11/25	オーストラリア・ドル	2.7
5 SVENSKA HANDELSBANKEN AB 3.25% 2023/9/27	オーストラリア・ドル	2.7
6 VERIZON COMMUNICATIONS 3.5% 2023/2/17	オーストラリア・ドル	2.5
7 KOMATSU FINANCE AMERICA 0.849% 2023/9/9	米ドル	2.5
8 AOZORA BANK 1.05% 2024/9/9	米ドル	2.4
9 CANADIAN IMPERIAL BANK 3.29% 2024/1/15	カナダ・ドル	2.3
10 HONDA CANADA FINANCE INC 2.537% 2023/3/1	カナダ・ドル	2.3
組入銘柄数	53銘柄	

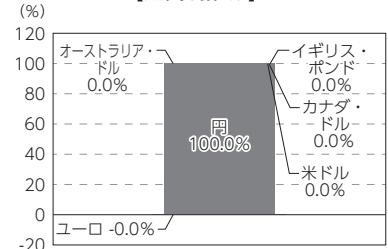
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
 (注) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。
 (注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は2022年12月20日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

※当マザーファンドの計算期間における詳細は運用報告書（全体版）をご参照ください。

りそな国内株式マーケットニュートラル（FOF s用）（適格機関投資家専用）

当運用報告書作成時点において、開示できる情報はございません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

FWRいそな国内リート インデックスオープン

追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	12,794円
純資産総額	10,745百万円
第7期	
騰落率	△ 3.4%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「FWRいそな国内リートインデックスオープン」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは国内の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期首：13,246円

期末：12,794円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 3.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および東証REIT指数(配当込み)は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 東証REIT指数(配当込み)は当ファンドのベンチマークです。

(注) 東証REIT指数(配当込み)は、東京証券取引所に上場している不動産投資信託(REIT)全銘柄を対象として算出した東証REIT指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。なお、指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)の動きを反映して、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	42 (33) (4) (4)	0.330 (0.264) (0.033) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	43	0.338	
期中の平均基準価額は、12,606円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

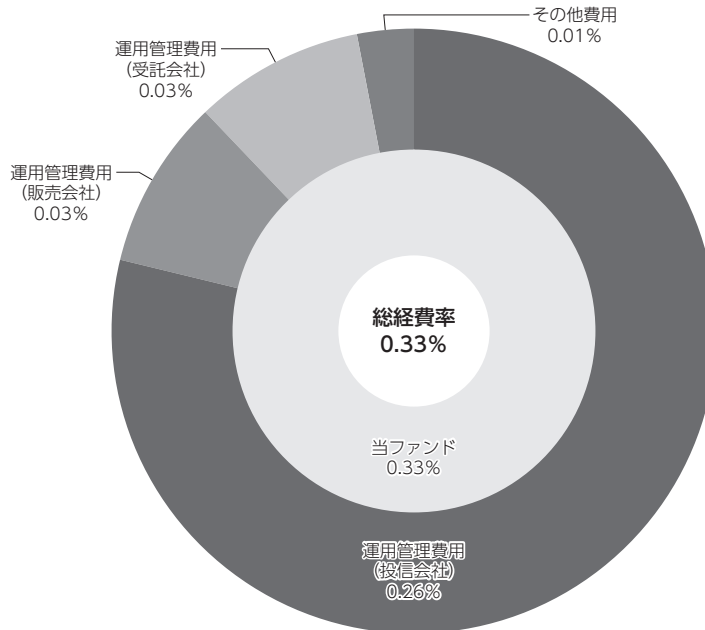
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.33%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額および東証REIT指数(配当込み)は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	10,049	12,668	10,382	13,375	13,246	12,794
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	26.1	△ 18.0	28.8	△ 1.0	△ 3.4
東証REIT指数(配当込み)騰落率 (%)	—	26.6	△ 17.5	29.3	△ 0.6	△ 3.1
純資産総額 (百万円)	3,450	5,068	3,930	6,775	7,907	10,745

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

国内リート市況

国内のリート市場は、前期末と比較して下落しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による金融引き締めや日銀による金融緩和策の修正が意識され、相場が不安定化する場面もみられました。2022年12月には、日銀が長期金利の変動許容幅を±0.25%から±0.5%へ拡大したことで、国内の資金調達環境の引き締めが意識され、国内のリート市場は急落しました。その後、米欧を中心とする金融システム不安や日銀による金融緩和策の再修正などを受け、国内のリート市場は上値の重い展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンド

R M国内リートマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

R M国内リートマザーファンド

国内の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、東証R E I T指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（用途別の比率など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の基準価額の騰落率は-3.4%となり、ベンチマークの-3.1%を0.3%下回りました。主な差異要因は以下の通りです。

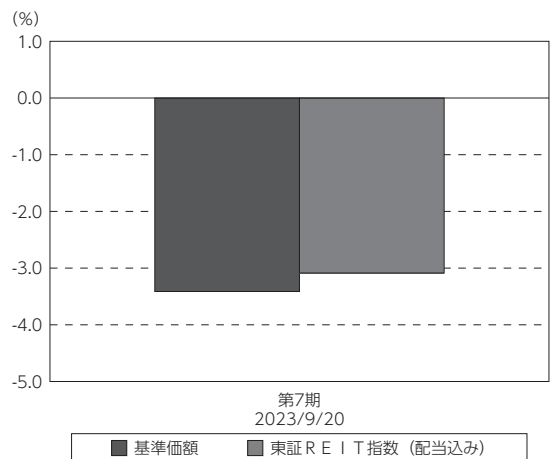
(マイナス要因)

- ・信託報酬などの諸費用が生じたこと
- ・コスト負担（リート等に係る取引費用）が生じたこと

(その他の要因)

- ・リーートの取引価格と評価に用いる価格が異なったこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,623

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RM国内リートマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。

RM国内リートマザーファンド

引き続き、主として東証REIT指数（配当込み）に採用されている不動産投資信託証券に投資し、東証REIT指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

お知らせ

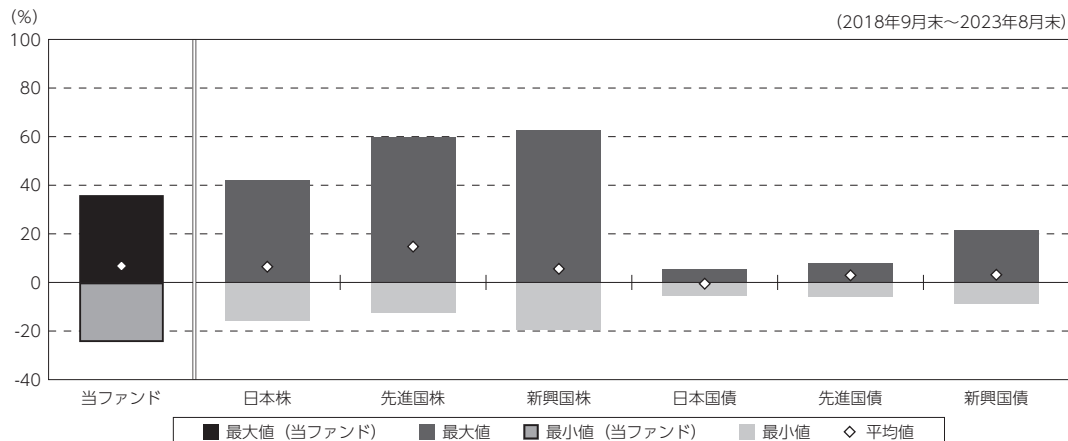
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型	
信託期間	2017年1月5日から無期限です。	
運用方針	東証REIT指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主要投資対象	F Wリそな国内リート インデックスオープン	・RM国内リートマザーファンドの受益証券
	RM国内リートマザーファンド	・東証REIT指数（配当込み）に採用されている不動産投資信託証券
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券への投資を通じ、東証REIT指数（配当込み）に採用されている不動産投資信託証券に投資し、東証REIT指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 なお、東証REIT指数（配当込み）への連動性を高めるため、東証REIT指数（配当込み）を対象指数としたETF（上場投資信託証券）または不動産投信指数先物取引を活用することがあります。 ②マザーファンド受益証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。	
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 24.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	6.8	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

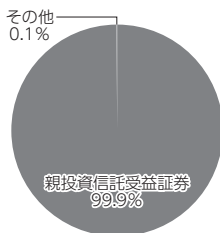
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
RM国内リートマザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

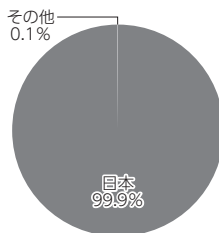
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

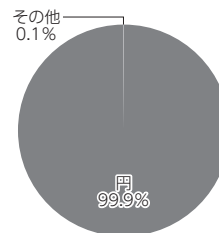
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末
	2023年9月20日
純資産総額	10,745,355,121円
受益権総口数	8,398,826,739口
1万口当たり基準価額	12,794円

(注) 期中における追加設定元本額は4,554,731,596円、同解約元本額は2,125,529,012円です。

組入上位ファンドの概要

RM国内リートマザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年1月26日～2023年1月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.001 (0.001)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は、14,648円です。		

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

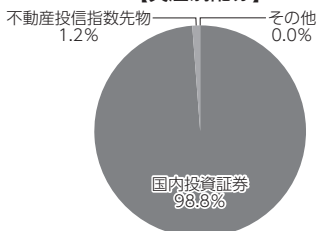
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	日本ビルファンド投資法人	投資証券	円	日本	6.3%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	投資証券	円	日本	5.4%
3	日本都市ファンド投資法人	投資証券	円	日本	4.8%
4	野村不動産マスターファンド投資法人	投資証券	円	日本	4.8%
5	日本プロロジスリート投資法人	投資証券	円	日本	4.7%
6	GLP投資法人	投資証券	円	日本	4.5%
7	大和ハウスリート投資法人	投資証券	円	日本	4.0%
8	オリックス不動産投資法人	投資証券	円	日本	3.4%
9	ユナイテッド・アーバン投資法人	投資証券	円	日本	3.2%
10	アドバンス・レジデンス投資法人	投資証券	円	日本	3.1%
組入銘柄数			62銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

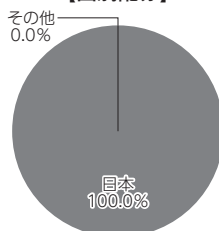
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

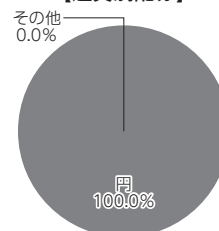
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

F Wりそな先進国リート インデックスオープン

追加型投信／海外／不動産投信／インデックス型

交付運用報告書

第7期(決算日2023年9月20日)

作成対象期間(2022年9月21日～2023年9月20日)

第7期末(2023年9月20日)	
基準価額	14,172円
純資産総額	21,198百万円
第7期	
騰落率	△ 0.1%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「F Wりそな先進国リートインデックスオープン」は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは日本を除く先進国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

<照会先>

電話番号：0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月20日)



期 首：14,185円

期 末：14,172円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 0.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)は、期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。
- (注) S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)は、S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。S & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有するS & Pグローバル株価指数の採用銘柄の中から、不動産投資信託(REIT)および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数であり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

ベンチマークであるS & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)は上昇したものの、信託報酬や各種コスト等の要因により、基準価額は僅かに下落しました。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	59 (50) (4) (4)	0.440 (0.374) (0.033) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	3 (0) (3)	0.019 (0.000) (0.019)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	5 (0) (5)	0.037 (0.000) (0.037)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	10 (8) (1) (1)	0.071 (0.058) (0.007) (0.006)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、権利・配当にかかる税金及びその払戻し、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	77	0.567	
期中の平均基準価額は、13,442円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

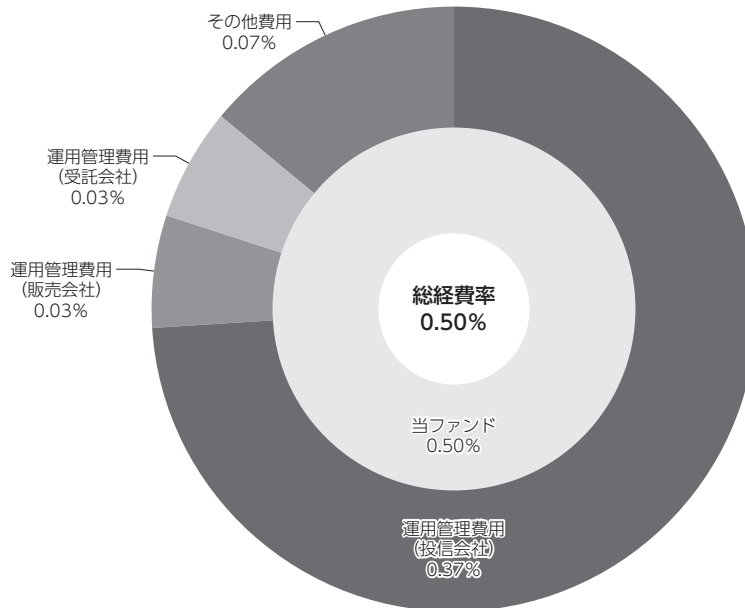
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月20日～2023年9月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS & P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)は、2018年9月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額 (円)	10,255	11,039	8,709	12,510	14,185	14,172
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.6	△ 21.1	43.6	13.4	△ 0.1
S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	9.2	△ 19.9	45.6	14.2	0.9
純資産総額 (百万円)	5,339	6,637	7,788	7,141	8,854	21,198

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月20日)

先進国リート市況

先進国のリート市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）の金融引き締めによる資金調達環境の悪化が意識されるなか、利上げペースの減速への期待などを手掛かりに上昇する場面もみられました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、先進国のリート市場は下落する場面がみられました。期末にかけて、金融システム不安が小康状態入りしたことなどを受けて、先進国のリート市場では買い戻しの動きがみられました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すF R B（米連邦準備制度理事会）による大幅かつ急速に利上げが進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対しては、E C B（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ＝159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当ファンド

R M先進国リートマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

R M先進国リートマザーファンド

日本を除く先進国の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指してファンドの特性値（国別構成比、用途別の比率など）をベンチマークに概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の基準価額の騰落率は-0.1%となり、ベンチマークの+0.9%を1.0%下回りました。主な差異要因は以下の通りです。

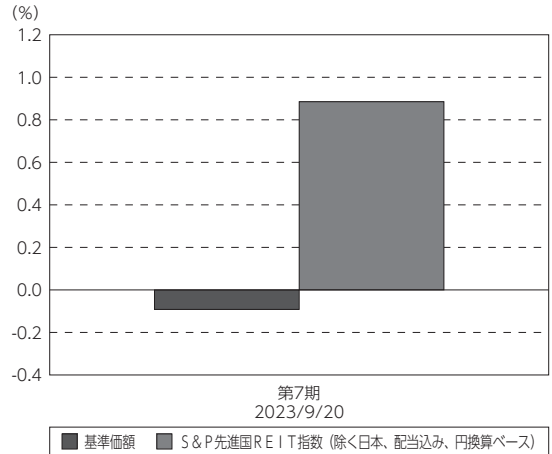
(マイナス要因)

- ・ 信託報酬などの諸費用が生じたこと
- ・ コスト負担（リート等に係る保管費用や取引費用などのコスト）が生じたこと
- ・ 配当金の課税負担が生じたこと

(その他の要因)

- ・ ベンチマークとファンドで評価に用いる為替レートが異なったこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2022年9月21日～2023年9月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第7期
	2022年9月21日～ 2023年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,804

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンド

引き続き、R M先進国リートマザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。

R M先進国リートマザーファンド

引き続き、主としてS & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）に採用されている不動産投資信託証券および不動産関連株式に投資し、S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

お知らせ

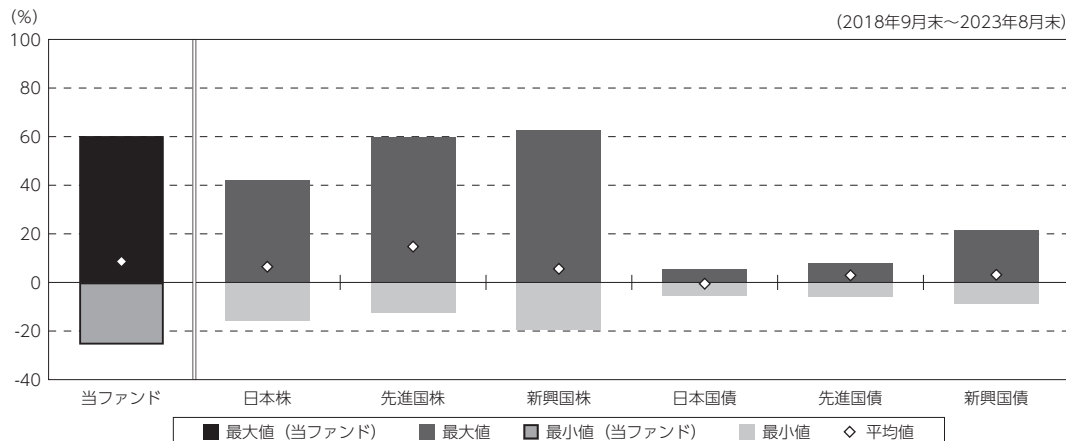
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信／インデックス型	
信託期間	2017年1月5日から無期限です。	
運用方針	S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主要投資対象	F Wリそな先進国リートインデックスオープン	・ R M先進国リートマザーファンドの受益証券
	R M先進国リートマザーファンド	・ 先進国（除く日本）の金融商品取引所に上場されているまたは店頭登録されている不動産投資信託証券 ・ 先進国（除く日本）の金融商品取引所に上場されているまたは店頭登録されている不動産関連株式 ・ 先進国の不動産投資信託証券に関する指数を対象指数としたE T F
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券への投資を通じ、先進国の不動産投資信託証券および不動産関連株式または先進国の不動産投資信託証券に関する指数を対象指数としたE T F（上場投資信託証券）に投資し、S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、S & P先進国R E I T指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）への連動性を高めるため、海外の金融商品取引市場に上場する指数先物取引を活用することがあります。 ②マザーファンド受益証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 25.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	8.6	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月20日現在)

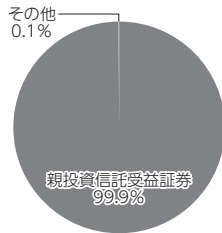
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
RM先進国リートマザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

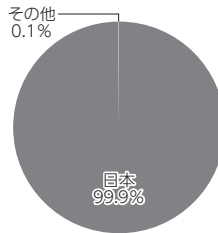
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

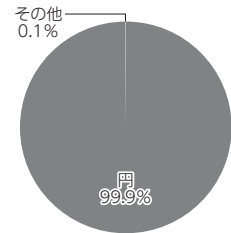
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

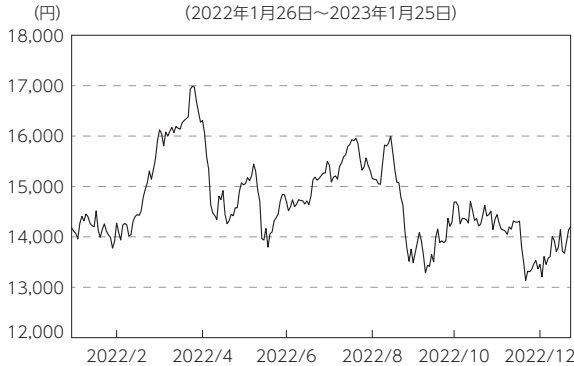
項目	第7期末
	2023年9月20日
純資産総額	21,198,236,084円
受益権総口数	14,957,540,493口
1万口当たり基準価額	14,172円

(注) 期中における追加設定元本額は11,396,493,544円、同解約元本額は2,680,690,120円です。

組入上位ファンドの概要

RM先進国リートマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月26日～2023年1月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	5 (0) (5)	0.037 (0.000) (0.037)
(b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	5 (0) (5)	0.035 (0.000) (0.035)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	15 (12) (2)	0.098 (0.084) (0.014)
合 計	25	0.170

期中の平均基準価額は、14,776円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

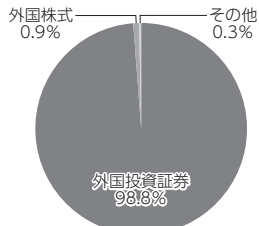
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	PROLOGIS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.6
2	EQUINIX INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.9
3	PUBLIC STORAGE	投資証券	米ドル	アメリカ	3.4
4	REALTY INCOME CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	3.1
5	SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	3.0
6	WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.6
7	VICI PROPERTIES INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.4
8	DIGITAL REALTY TRUST INC	投資証券	米ドル	アメリカ	2.3
9	AVALONBAY COMMUNITIES INC	投資証券	米ドル	アメリカ	1.8
10	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	投資証券	米ドル	アメリカ	1.8
	組入銘柄数		326銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

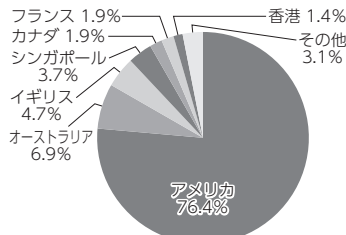
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

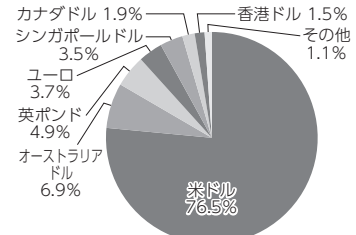
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年1月25日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。